

リアホナ



人生で
主の計画に従うための
10の方法, 14ページ

七十人定員会の一致——
做すべき模範, 38ページ

あなたの選びはなぜ重要な意味を
持つのでしょうか, 62ページ

ポール, そしてデートに関する
わたしの決意, 65ページ



「おおよそ
主にたより、
主を頼みとする人は
さいわいである。

彼は
水のほとりに植えた
木のように、
その根を
川にのぼし、……
その葉は
常に青(い)。」

エレミヤ 17:7-8



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
愛を込めて主に仕える
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な使命
——良い羊飼い

特集

- 14 平安と喜び、目的のある人生
リチャード・G・スコット長老
これらの10の選択が、実り豊かで
幸福な人生のための規範を確立する
助けになります。

表紙

表紙——フォト・イラスト/レスリー・ニルソン。
表紙裏——写真 ©Yann Arthus-Bertrand/Altitude

22 アブラハムの聖約

すべての教会員は、アブラハムの聖約
に関係しています。この表にはその
歴史が示されています。

26 世界各地の開拓者たち—— 「あの広大な帝国」

ロシアにおける教会の発展

ジェームズ・A・ミラー

末日聖徒は、現代の預言に基づいて
ロシアに教会を築いてきました。

32 新たな人生を育む

イーブ・ハート

世界中の改宗者たちが、どのように
信仰の種を植え、堅固な福音の根を
伸ばしてきたかを紹介しています。

38 神権定員会における 霊的な力を築く

ロナルド・A・ラズバンド長老

七十人定員会における一致と愛は、
すべての神権定員会にとって模範と
なります。

シリーズ

- 8 2013年10月の大会ノート
- 10 旧約聖書の預言者たち——ノア
- 11 『若人の強さのために』の教え——
奉仕
- 12 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
永遠の家族になるための備え
マルコ・カストロ・カストロ
- 44 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——メッセージ
ジェリー・ピーク

48



48 話し、耳を傾け、愛する

マーク・オグレットリー

3つのコミュニケーション間のバランスを取ることで、健全な関係を築くことができます。



今月号の中に
隠れている
リアホナを
探しましょう。
ヒント——
これは大切です。

62



自分が人生に何を求めているか、考えてみると……

52 神殿の祝福

ロバート・D・ヘイルズ長老

神殿に参入するための備えは、人生で経験することの中で最も重要なものの一つです。

56 質疑応答

神殿が遠すぎて、あまり頻繁に参入する機会が持てません。神殿がわたしの生活の中で、もっと大きな位置を占めるようになるには、どうすればいいでしょうか。

58 若人の強さのために——

忠実な愛ある奉仕

キャロル・F・マッコスキー

60 「お帰りなさいキット」を配る

オリベット・ガサング

壊滅的な台風により、何千もの家屋が倒壊しました。今こそ、奉仕をする機会です。

61 命の書の記入の仕方

L・トム・ペリー長老

「やってよかった」と言える行いで人生を満たす方法。

62 自分の選ぶことがなぜ重要な意味を持つのか

ミンディ・ライ・フリードマン

良い結果を望むなら、正しい選択をしましょう。

65 デートをするかしないか

サバンナ・M・スミスソソ

ポールからデートに誘われました。彼は良い友達です。どうしてわたしは誘いに応じられなかったのでしょうか。

76



66 いねかり

あおやぎこういちろうろう
青柳弘一長老

いねかりは半分しか終わっていませんでした。これでは、教会に行かせてはもらえないでしょう。

67 天のお父様は

みなさんを愛しておられます

トーマス・S・モンソン大管長

68 えいえんに続く最高の家族

オリビア・コーレー

オリビアはほかの女の子たちから、仲間外れにされていました。1缶のペンキでは何も変わらないと思いました。

70 特別な証人——

ほかの人のためにほうしすることはなぜ大切なのでしょうか？

M・ラッセル・バラード長老

71 わたしたちの ページ

72 せかいの 友だち ——

わたしは ロシアの アリーナです
エイミー・ジェーン・レビット

74 初等協会を かていでも ——

天のお父さまには、
子どもたちのために
一つの 計画が おあります

81 よげんしゃの ポートレート ——

スペンサー・W・キンボール

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



フットプリント/ヘンリー・ターモント

「ノア」10 ページ——指人形の影絵を使ってノアの経験について話すことを検討してみてください。暗い部屋で、壁を懐中電灯などで照らします。家族で腕や手を使って壁に影で形を作り、船や動物、雨、鳩、虹などについて話します。最後に、今日の生ける預言者に従うことのできる方法について話したり、「預言者にしたがおう」(『子供の歌集』58-59) や預言者に関するその他の歌を歌ったりして、活動を終えるのもよいでしょう。

「えいえんに続く最高の家族」68 ページ——家族間の友情を育む活動を計画することを検討してみてください。オリビアとジェーンがしたように、ペンキを塗るのもいいでしょう。その後、仲間からの圧力にどう対処するかについて話し合ったり、家族間に堅固な友情を築くことの祝福について思いめぐらすのもよいでしょう。聖文の登場人物の中で、家族との友情によって強められた人について話すこともできます。マリヤとエリサベツ、ニーファイとサム、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスなどです。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

愛, 4, 46, 48, 67

証, 32

イエス・キリスト, 7, 14, 47

戒め, 62, 66

キンボール, スペンサー・W, 81

デート, 65

ノア, 10

バプテスマ, 71

ロシア, 26, 72

安息日, 66

改心, 32, 46

開拓者, 26

家族, 12, 32, 68

感謝, 60

結婚, 12, 48, 52

試練, 32

神権, 22, 38

信仰, 14, 47

神殿活動, 14, 26, 32, 52,

56

救いの計画, 22, 61, 62, 74

聖約, 22

聖霊, 45, 80

選択の自由, 61, 62

定員会, 38, 44

伝道活動, 26, 32, 66, 71

光, 45

標準, 14, 65

平安, 14

奉仕, 4, 11, 14, 32, 38, 44,

58, 60, 70

召し, 14, 32

目標, 62

喜び, 14



トーマス・S・
モンソン大管長

愛を込めて 主に仕える

主 イエス・キリストはこう教えておられます。「自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを救うであらう。」
(ルカ 9:24)

トーマス・S・モンソン大管長はこう述べています。「救い主が言っておられるのは、自分を捨てて人に奉仕しなければ、自分自身の人生の目的などほとんどないということだとわたしは信じています。自分のためにだけ生きる人は、ついには枯渇してしまい、比喩的に言えば、命を失ってしまいます。一方、自分を捨てて人のために奉仕する人は、成長し、繁栄して、実際に自分の命を救うのです。」¹

以下の言葉はモンソン大管長の教えからの引用ですが、大管長は末日聖徒に、彼らは主の御手に使われる者であり、ほかの人のために忠実に奉仕する人には永遠の祝福が待っていることを思い起こさせています。

神殿における奉仕

「幕のかなたへ行った人々の身代わりの儀式を受けるのは、偉大な奉仕の行いです。多くの場合、わたしたちは自分が身代わりをしている人について知りません。感謝されたいという期待もしていませんし、行った儀式を受け入れてくれるという確信もありません。しかしわたしたちは奉仕をします。そしてその過程で、ほかの方法では得られないものを得ています。文字どおり、わたしたちはシオンの山の救い手になっているのです。救い主がわたしたちの身代わりの犠牲として御自身の命をささげてくださいったように、わたしたち

も、神殿で身代わりの儀式を行うとき、微力ながら同じことをするのは、儀式を待っている人々は、この地上にいるわたしたちが身代わりに儀式を行わなければ、前進することができないのです。」²

わたしたちは主の御手

「兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの周りには、家族、友人、知人、他人を問わず、わたしたちの注目、励まし、支え、慰め、親切を必要としている人が大勢います。わたしたちは地上で主の御手に使われる器であり、わたしたちには御父の子供たちに仕え、彼らを高める責務があります。主はわたしたち一人一人を頼りにしておられるのです。……

わたしたち皆が行うように召されている奉仕は、主イエス・キリストの奉仕です。」³

救い主に倣って奉仕する

「アメリカ大陸で、復活した主は次のように言われました。『あなたがたは、わたしの教会で行わなければならないことを知っている。わたしがするのを見たその行いを、あなたがたもしなさい。わたしが行うのを見たそのとおりのことを、あなたがたも行いなさい。』[3 ニーファイ 27:21]

『よい働きをしながら……巡回され[た]』ナザレのイエスに倣って奉仕するとき[使徒 10:38]、わたしたちはほかの人々に祝福をもたらします。地上にいる天の御父の子供たちに仕えるとき、御父に仕えることに喜びを見いだせるよう、神がわたしたちを祝福してくださいますように。」⁴



奉仕する必要

「奉仕の機会が必要です。活発ではない、または積極的に活動するのをためらっている人のために、手を差し伸べる方法を祈りの気持ちで探さなくてはなりません。何らかの奉仕をするよう依頼することが、活発になるためにまさに必要な励ましとなるかもしれません。しかし、指導者が奉仕を頼むことに消極的になり、助けを与える機会を失っている場合があります。人は変われるということを忘れてはいけません。悪い習慣を捨て去り、罪を悔い改めることができます。ふさわしい神権者になり、勤勉に主に仕えることができます。」⁵

わたしたちはすべきことをすべて行っているでしょうか

「世の人々はわたしたちの助けを必要としています。わたしたちはすべきことをすべて行っているでしょうか。ジョン・テラー大管長の次の言葉を

覚えているでしょうか。『召しを尊んで大いなるものとしなければ、神は、皆さんが義務を果たしていたら救えたはずの人々への責任を皆さんに帰せられます。』[『歴代大管長の教え——ジョン・テラー』164] 足を踏み外さないよう助けてあげられる人がいます。手を握り、励まし、鼓舞し、救うべき人がいます。永遠の祝福が皆さんを待っています。……奉仕という舞台の観客ではなく出演者となるのは皆さんの特権です。」⁶ ■

注

1. 「今日われ善きことせしか」『リアホナ』2009年11月号, 85
2. 「また逢う日まで」『リアホナ』2009年5月号, 113 - 114 参照
3. 「今日われ善きことせしか」85, 87
4. 「救い主から与えられた奉仕の召し」『リアホナ』2012年8月号, 4 - 5 参照
5. 「人が将来なり得る姿を見る」『リアホナ』2012年11月号, 68 参照
6. 「奉仕する意志とふさわしさ」『リアホナ』2012年5月号, 69
7. 『教師、その大いなる召し——福音を教えるための資料集』12

このメッセージから教える

「キリストのような愛を身に付けていれば、福音を教えるためにより良い備えができる。慈愛を身に付けた人は、ほかの人が救い主を知り、主に従うのを助けるように靈感を受けるからである。」⁷ 訪問先の人たちのために、慈愛の気持ちを高められるように祈るとよいでしょう。彼らに対してキリストのような愛を育むにつれて、有意義な方法で、主と教える人々にさらによく仕えることができるでしょう。

奉仕をした夏

エリザベス・ブライト

ある夏、わたしは外国で過ごし、特別な必要のある子供たちとともに働きました。初めて子供たちに会ったとき、非常に不安でした。彼らの言語を話せなかったからです。でも、御霊の導きによって子供たちと意思の疎通ができると信じていました。一人一人の子供を知るようになるにつれて、言葉が通じなくても、愛する妨げにはならないことが分かりました。子供たちと一緒に遊んだり、笑ったり、工作をしたりしているうちに、子供たちを心から愛する気持ちが湧いてきて、抑えることができませんでした。天の御父が御父の子供たちに対して持っておられる愛を垣間見ることができました。そして言葉ではとうてい表現できない喜びで胸がいっぱいになりました。

わたしはほかの人に奉仕するときはずっと、奉仕している相手だけでなく、天の御父に対しても愛を感じます。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである」(モーサヤ2:17)ということがほんとうに分かるようになったのです。大きな奉仕活動であろうと、小さな親切の行為であろうと、わたしは神の栄光をたたえるという目的で奉仕するようになりました(マタイ5:16)。わたしがほかの人に奉仕しているとき、天の御父を愛するわたしの心と、わたしの内で輝きキリストの光に、人々が気づいてくれるよう望んでいます。

筆者はアメリカ合衆国バージニア州在住です。

あいの くさり

大人の人に 手つだってもらい、紙を 細長く 28 大きい 切ってください。やく 2.5 センチの はばで、やく 20 センチの 長さにします。今月、だれかを あいする 気持ちを 毎日 しめすために、ほうしの 行いを します。お父さん お母さんの 手つだいを して 家のそうじを したり、りんじんに やさしい ことばの 手紙を 書いたり するのも よいでしょう。

細長い 紙 1まいに その日に 行った ほうしを 書き、紙のはしに テープ または のりをつけて わを 作ります。新しい 紙の りょうはしをつける 前に、前の日に 作った わの 中へ 一方の はしを さしこみ、二つの わを つなぎます。あいの くさが だんだん 長く なりますね。2月が 終わった後、ほうしの くさを もっと 長くしていくと よいでしょう。



祈りをもってこの資料を学び、訪問先の姉妹に何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。救い主の生涯と使命が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な使命—— 良い羊飼い

本記事は、救い主の様々な使命に焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

良い羊飼いであるイエス・キリストは次のように教えておられます。「あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている者がいたとする。その一匹がいなくなったら、九十九匹を野原に残しておいて、いなくなった一匹を見つけるまでは捜し歩かないであろうか。……

よく聞きなさい。……罪人がひとりでも悔い改めるなら、……大きいよろこびが、天にあるであろう。」(ルカ 15:4, 7)

イエス・キリストが良い羊飼いであられることを理解するようになると、主の模範に従い、困っている人々に奉仕したいという願いが強まります。イエスはこう言われました。「わたしはよい羊飼いであって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。……そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。」(ヨハネ 10:14-15) キリストの贖罪があるおかげで、家へ帰る道を見いだせないほど遠くへさまよってしまう人は、一人もいません

何ができるでしょうか？

1. 救い主が良い羊飼いであられると分かると、わたしたちの生活にどのよう
に平安がもたらされるでしょうか。



(ルカ 15 章参照)。

トーマス・S・モンソン大管長はこう述べています。「わたしたちには群れを養う責任が与えられています。……一人一人が自発的に奉仕できますように。」¹

聖文から

詩篇 23 篇；イザヤ 40:11；モーサヤ 26:21

注

1. トーマス・S・モンソン「天の家——永遠の家族」『リアホナ』2006年6月号, 70
2. エリザベス・アン・ホイットニーの言葉。『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』128で引用
3. トーマス・S・モンソン「今日われ善きことせしか」『リアホナ』2009年11月号, 85
4. ジェームズ・E・ファウスト「荒野にさまよう一つの羊」『リアホナ』2003年5月号, 68

信仰・家族・扶助



わたしたちの歴史から

扶助協会の最初の集会に出席したエリザベス・アン・ホイットニー姉妹は、1830年に改宗したことについてこう語っています。「長老たちが福音を宣べ伝えるのを聞いた瞬間、それが良い羊飼いの声であると分かりました。」² エリザベスは良い羊飼いの声に従い、バプテスマと確認を受けました。

わたしたちもまた、良い羊飼いの声を聞き、主の教えをほかの人と分かち合うことができます。モンソン大管長はこう述べています。「わたしたちは地上で主の御手に使われる器であり、わたしたちには御父の子供たちに仕え、彼らを高める責務があります。」³

羊飼いが迷い出た羊を捜すように、親は迷い出た子供を捜すことでしょう。大管長会第二顧問を務めたジェームズ・E・ファウスト大管長(1920-2007年)はこのように述べています。「悲嘆に暮れた両親は、不従順な子供たちを、義にかなって、勤勉に、祈りの気持ちで教えてきました。わたしたちは皆さんに申し上げますが、良い羊飼いが彼らを見守ってください。神は皆さんの深い悲しみを知って、理解しておられます。希望があります。」⁴

2013年10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……

わたし自身の声によろうと、わたしの僕たち^{しもべ}の声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2013年4月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、生ける預言者と使徒、ほかの教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。



精神や情緒的問題に関する 預言者の言葉

「皆^{みな}さんや皆さんの愛する人が精神的または情緒的問題に直面したとき、どのように対応するのが最も良いのでしょうか。何よりも、天の御父を信じる信仰を決して失わないでください。御父は皆さんが理解できる以上に皆さんを愛しておられます。……決してそれを疑わないでください。決して心をかたくな^{かたくな}にしていけません。生活に主の御霊を招くために、これまで多くの人が試してきた

ことを行いましょう。皆さんの霊的な福利について鍵を持つ人々に助言を求めてください。神権の祝福をお願いし、それを大切にしてください。毎週聖餐^{せいさん}にあずかり、完全にしてくださるというイエス・キリストの贖罪の約束にしっかりとつかまってください。奇跡を信じてください。わたしは、あらゆる点で希望がないと思われたときに多くの奇跡が起きるのを目にしてきました。希望がなくなることは決してありません。奇跡がすぐに、十分に、あるいはまったく起こらないように思えるときは、救い主御自身も苦しめられたことを思い出してください。たとえ苦しい杯が過ぎ去らなかつたとしても、

あなたのための 答え

各大会で、教会の指導者は教会員が持つ質問に対して靈感あふれる回答を与えています。質問に対する答えを見つけるには、『リアホナ』2013年11月号を読むか、conference.lds.org (日本語版) にアクセスしてください。

- 神は、なぜ純潔の律法をそれほどまでに強調されるのでしょうか。ダリン・H・オークス長老の「ほかに何ものをも神としてはならない」を参照してください。
- どうしたら、さらに神に近づくことができるのでしょうか。テレンス・M・ビンソン長老の「神に近づく」を参照してください。
- 惑わされないようにするには、どうしたらいいのでしょうか。アドリアン・オチョア長老の「見上げなさい」を参照してください。

前途の幸福な日々を信じて、それを飲み干して、強くなってください。……

……死すべき世で障がいを抱えていた愛する人々が、栄光に満ちた、すばらしい、息をのむほど完全な体と精神^{あかし}でわたしたちの前に立つ日が来ると証します。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホランド長老
「破れた器のように」
『リアホナ』2013年11月号, 40 - 41, 42

総大会説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、conference.lds.org にアクセスしてください。

共通のテーマ——悔い改め

総大会では、ある非常に重要なテーマについて複数の話者が語る事がよくあります。ここでは3人の話者が悔い改めについて語ったことを採り上げます。

- 「悔い改めに至る罪に対する悲しみと、絶望に至る悲しみとの間には、重要な違いがあります。使徒パウロはこう教えています。『神のみこころに添うた悲しみは、悔いのない救を得させる悔改めに導き、この世の悲しみは死をきたらせる。』〔2コリント7：10、強調付加〕¹ 大管長会第二顧問 ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 「忘れないでください。悔い改めは罰ではないのです。より栄光に満ちた将来に向かって進む、希望に満ちた道なのです。」² 十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老
- 「救い主の贖いの犠牲は将来、悔い改めの原則を通して救いと昇栄をわたしたちにもたらします。正直に、心から悔い改めるならば、贖いを通してわたしたちは聖くなり、本質を変え、首尾よく問題を堪え忍ぶことができるのです。」³ 七十人 リチャード・J・メインズ長老

注

1. ディーター・F・ウークトドルフ「あなたなら、今できます」『リアホナ』2013年11月号、56
2. リチャード・G・スコット「イエス・キリストの贖罪から得られる個人の強さ」『リアホナ』2013年11月号、84
3. リチャード・J・メインズ「堪え忍ぶための力」『リアホナ』2013年11月号、79



預言者の約束

「神の子供たちに幸福への道を強制することはできません。神でさえも選択の自由を侵すことはおできにならないのです。

天の御父と御父の愛される御子は、選択のいかんにかかわらず、神のすべての子供たちを愛しておられます。

救い主は、その忌まわしさの程度を問わず、あらゆる罪の代価を支払われました。正義は必要ですが、正義を決して侵すことのない憐れみの機会が差し伸べられています。……すべての人がかつて御父の家族として生活する喜びを味わったという確信から、わた



数字で見ると*

モンソン大管長が使徒になってから、**50年**がたちました

1,500万人の教会員

197か国で総大会が視聴可能に

8万333人の専任宣教師

*2013年10月総大会現在



したちは常に勇気を得ることができます。神の助けにより、皆、その希望と喜びを再び感じることができます。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長
「わたしの孫たちへ」
『リアホナ』2013年11月号、71、72

ノア

〔ノア〕は神権の権能においてアダムに次ぐ位にあります。

ノアは神からこの職に召され、その時代におけるすべての生けるものの父で〔した〕。』¹——預言者ジョセフ・スミス

父はわたしをノアと命名しました。ノアは「安息」という意味です。父はわたしが家族に安息をもたらすと確信していたからです。わたしが生きた時代は、暴力、憎しみ、そのほかの罪が人々を苦しめていた暗黒時代でした。²

神は、邪悪な人々を滅ぼす洪水が起きるとわたしに警告し、船を造って、食物と動物を集めるよう指示されました。3人の息子の助けと神からの靈感を受けて、その後120年間、わたしは船を造るために働きました。雨が降る兆候はみじんもありませんでした。³

また、わたしは悔い改めを説きました。耳を傾けて、洪水を逃れる人が幾らかでもいることを望んだからです。エノクが身を変えられてから洪水までの間に、多くの忠実な人が死を味わうことなく天に取り上げられました。しかし、そのほかの人々は悔い改めを拒みました。⁴

ついに、わたしの家族は箱船に乗り込み、入り口を封じました。入り口を開けたのは、1年近くたった後に雨がやみ、地が乾いたときでした。⁵ 箱船から降りると、

神は二度と再び地を洪水で覆うことはしないと約束なさいました。神の聖約の象徴として、虹が空に弧を描きました。神はわたしたちに、家族を増やし、福音に従った生活を続けるようお命じになりました。そしてわたしは人類2番目の父祖となりました。⁶

何世紀もたった後、わたしはガブリエルという名の天使として、⁷ 祭司ザカリヤにバプテスマのヨハネの父親になることを告げました。また、マリヤに現れて、あなたは救い主を産むであろう、と告げました。⁸

わたしの生涯がはっきり示しているように、たとえ困難な時期にあっても、神に従うなら、孤立することはありません。人生の洪水はいつか治まり、空に架かる美しい虹のように、生活の中で福音の美しさを悟るでしょう。■

注

- 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』103
- 創世6:11; モーセ8:9; 聖句ガイド「ノア」の項参照
- 創世6:14-22; モーセ8:17; 『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』140-141参照
- モーセ7:21, 27; 8:15-24参照
- 創世7:11; 8:13-14参照
- 創世9:1-17参照
- 聖句ガイド「ガブリエル」の項参照, scriptures.lds.org
- ルカ1:11-20, 26-33参照
- 創世5:3-28参照
- 創世9:29参照
- ダニエル8:15-19; 9:21-23参照

重要な情報——ノア

呼称——ノア, ガブリエル

出生年——アダムから約1,056年後⁹

死亡時の年齢——950歳¹⁰

系図——レメクの息子, メトセラの孫, アダムから9世代後

現世で果たした役割——洪水前に義を説く、洪水から家族と動物を救う、人類の2番目の父祖

死後に果たした役割——ガブリエルとしてダニエルに現れ、再臨について教える。¹¹ バプテスマのヨハネの父親ザカリヤに現れる。イエスの母親マリヤに現れる。



奉 仕

今月号の58-59ページで、中央若い女性会長会第一顧問のキャロル・F・マッコンキー姉妹は、奉仕はイエス・キリストの福音の実践であると説明しています。「人のために奉仕するとき、わたしたちは救いの業に携わっています。ベニヤミン王の次の教えのとおりです。『あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである……。』（モーサヤ2:17）」下記の提案は、奉仕およびイエス・キリストの福音における奉仕の役割について、青少年や子供に教えるうえで役立つでしょう。

青少年に教えるための提案

- 青少年のためのビデオ“Extraordinary Gift”（「並外れた才能」）（lds.org/go/E24service [英語] に掲載）のモルモンメッセージには、ある盲目の若い男性の話が紹介されています。ほかの人を祝福するために自分の才能を使っている人です。家族と一緒にビデオを見て、家族一人一人に与えられている並外れた才能について話し合うとよいでしょう。ほかの人に奉仕するためにこれらの才能を使うにはどうしたらよいでしょうか。
- 『若人の強さのために』にはこう書かれています。「あなたにできる最も大切な奉仕として自分

の家庭の中で行う奉仕が挙げられるでしょう。」家庭における奉仕の大切さについて、青少年と話し合います。家族が互いに奉仕し合うとき、どのような祝福があるでしょうか。青少年が家庭でさらに有意義な奉仕をすることができる方法を計画します。

- 「日々のささやかで親切な行いが、いちばん大切な奉仕である場合がよくあります。」（『若人の強さのために』32）「日々のささやかで親切な行い」から成る奉仕活動を計画するよう青少年に勧めてください。奉仕が、バプテスマで交わした聖約とどのように関連しているかについて話し合います（モーサヤ18:8-10参照）。
- 家庭の夕べで総大会の説教探しゲームをするのもよいでしょう。最近行われた総大会の説教から、ヒントを手がかりに奉仕に関する話を探すゲームです。見つけた話を発表し、指導者の勧告に従うにはどうしたらよいかについて話し合います。

子供に教えるための提案

- 奉仕の機会はどこにでもあることを子供が理解できるように助けてください。日々の生活の中で奉仕できる方法を家族に探してもらいます。それから集まっ



このテーマに関する聖句

マタイ 25:35-45

ルカ 10:25-37

ヤコブの手紙 2:14-17

て、自分の経験について話し合います。

- 家族の歴史、教会機関誌、または総大会の説教から奉仕に関する話を紹介します。モーサヤ2:17を読み、ほかの人に仕えることにより、どのように天の御父に仕えることができるかについて話し合います。
- ほかに人に奉仕をしている絵を子供に描いてもらいます。きょうだいや友達、教師、親に奉仕するためにどんなことができるか尋ねます。■

永遠の家族になるための備え

マルコ・カストロ・カストロ

結婚生活という料理をおいしく作る魔法のレシピはありませんが、材料はいつも同じです。

妻とわたしは、友人たちの中に離婚する人がいるのを見て、驚き悲しみました。最初に感じたのは、結婚生活で困難な問題に直面すれば、自分たちにも同じことが起こるのではないかという恐れでした。実際にわたしたちの結婚生活に大きな危機が訪れたとき、最後にもう1回だけ自分たちにチャンスを与えよう、ただし正しい方法で行おうと決心しました。それ以前に、わたしたちはすでに、互いの考えや気持ちを考慮することにより問題を解決しようと、しばらくの間努力していました。夫婦関係は改善されましたが、それは一時的で、しばらくすると、また同じような問題が生じました。

わたしたちの結婚生活が変化し始めたのは、結婚生活の中で主に大きな役割を果たしていただく必要があるということに気づいてからでした。自分たちだけでは夫婦の不一致に取り組むこと、ましてや解決することは決してできないことが分かったのです。プライドを捨て、それまでしたことのない、重要なあることをしました。自分自身の意見を忘れ、主がわたしたちに望んでおられることを主に尋ねた

のです。主の導きを受けて初めて、二人の結婚生活は改善し始めました。ただし、少しずつ、主の方法で、主御自身の時に従ってなされたのです。

チリ・サンティアゴ神殿の聖壇にひざまずいて以来、もう数年になりますが、その間多くの困難や逆境に遭遇してきました。振り返ると、経験してきたことはすべて、自分たちのためになったとすることができます。逆境を通して謙遜

になることを学び、強められました。どのように生活を整えたらよいか、今なお学んでいます。愛と理解の中で対等なパートナーとして一緒に取り組むことを、二人で学んでいるのです。その努力はする価値のあるものです。

結婚生活という料理をおいしく作る魔法のレシピはありませんが、材料は、常に変わずイエス・キリストの福音の中にあります。そこでわたしたちは家族として、一つの宣言を書きま





信仰という 土台の上に築く

「幸福な永遠の結婚は、主イエス・キリストを信じ、主の教えを固く守るという土台の上に

築かれます。〔「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129参照〕
 実り豊かな結婚生活を送っている夫婦を見ると、信仰に関する規範を実践していることが分かります。聖餐会をはじめとする集会に毎週出席し、家庭の夕べを行い、一緒にまた個人で祈り、聖文を研究し、正直に什分の一を納めています。二人はともに従順で善良になろうと努めています。』

七十人会長会 L・ホイットニー・クレイトン長老
 「結婚——よく見て覚えましょう」
 『リアホナ』2013年5月号, 83参照

した。大管長会と十二使徒定員会が発表した家族に関する宣言¹とともに用いる宣言です。「永遠の家族になるための備え」と題するわたしたちの宣言は次のような言葉で始まります。「わたしたち、カストロ・マルティネス家族は、結婚は神によって定められたものであり、もしわたしたちが福音の律法と儀式に従うなら、イエス・キリストの贖罪を通して家族関係が永遠に続くことを証します。」

その後続くのは17の原則です。それらは、結婚と家族生活を実り豊かなものにする最大のチャンスを与えてくれる福音の基本的な価値観を表しているとわたしたちなりに考えたものです。わたしたちが挙げた原則は、

何も革新的なものではありません。個人と家族の祈り、聖文の研究、毎週行う家庭の夕べ、日曜日の集会への出席、定期的な神殿参入、互いに愛と尊敬をもって接すること、そして奉仕などです。もう一つ分かったことは、原則だけでは何の効果もなく、原則を実行しなくてはならないということです。

プライドを捨て、主の導きを受け、主の御心に従って結婚生活を送るなら、永遠の家族になる道を歩むことができます。■

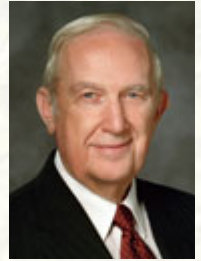
著者はチリのバルパライソ在住です。

注

1. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129参照



十二使徒定員会
リチャード・G・
スコット長老




平安と喜び, 目的のある 人生

皆さんが主の望まれる善の働き手となれるように
主が皆さんの決心を強め, 皆さんがもっと信仰を働かせ,
人格を高めていけるよう励ましてくださいますように。

この世は深刻な問題を抱えており, 合衆国をはじめとする西洋諸国の基本的価値観が損なわれつつあります。原則, 徳, 高潔, 宗教上の価値観という, 文明の土台であり平和と幸福の重要な要素が絶え間なく崩れています。こうした状況の中で成功し, 幸福な人生を送るための法則をできるかぎり簡潔に分かりやすくお話ししましょう。

人生に平安と喜び, 目的を見いだせるように, 神は皆さんに信仰を行使する能力をお与えになりました。しかし, その能力を働かせるためには, 信仰は確かなものに根差したものでなければなりません。天の御父が愛してくださっているという信仰, 御父の幸福の計画を信じる信仰, そして, イエス・キリストが自らの約束のすべてを果たす意志と力をお持ちであるという信仰以上に確かな土台はありません。



信仰の土台となる原則の中には次のようなものがあります。

- 神を信頼する。いかに厳しい状況であっても、必要ときに助けを与えたいと神が願っておられることを信じる。
- 主の戒めに対して従順であり、主に信頼されるような生活を送る。
- 御霊の小さな声に注意して耳を傾け、勇気をもって感じたことを行う。
- 神が成長のための試練をお与えになるとき、また、祈りの答えが長い時間をかけて少しずつしか与えられないときに忍耐し、理解する。

信仰と人格が相互に作用する力を理解し、用いることは助けとなります。神は人の信仰を用いてその人の人格を形成されます。人格は、教義と原則そして従順という糸を丹念に紡いでできていきます。人格はあなたの将来の姿を表しています。神は人格を尺度に、あなたが現世の人生をどう使ってきたかを判断なさるのです。道徳的に高い人格は、人生の試練や試しにあって一貫して正しい選択をしてきた結果として得られます。自分の信ずることに自信を持つことでそのような選択ができます。またそれを実行に移すと、選択が正しかったと確認するのです。

立派な人格

自分の理解の限界に向かって不確実という暗がりに足を踏み入れようと信仰をもって進むとき、人は導きを受けて人生の試練に対する解決策を見いだします。それは信仰がなければ得られない解決方法です。どんなに強い信仰があったとしても、神はすぐ皆さんの希望どおり報いてくださるとは限りません。むしろ、神の永遠の計画の中から皆さんにとって最善のものを少しずつお与えになります。絶えず信仰を働かせることで、差し迫った責務

の求めに応じられる強い人格が築かれます。そのような人格が築かれるのは、大きな試練や誘惑に遭ったときではありません。それは、人格が発揮される時なのです。

人格の基盤は誠実さです。立派な人格は、御霊の導きを認識する力と、その導きに従う力を強めます。しっかりと確立した人格は、何を所有し、何を学び、どのような目的を達成したかということより重要なのです。一貫して信仰を働かせることでしっかりとした人格が築かれます。すると、強められた人格により、信仰を行使する力が強められ、その結果、人生における試練を克服する能力と自信が増します。人格が強められればそれだけ信仰の力を発揮させる能力が増すという強化のサイクルが続きます。

どこに住み、何を職業とし、何を中心に生活していようと、男性でも女性でも、人は必ず魂をかけた闘いに巻き込まれます。そうした闘いにおいて勇敢であってください。これは人格の根源に仕掛けられる闘いです。サタンとその軍勢は、御父の御心に断固として反対し、一貫して御父の戒めに背くことで自らの性格を明らかにしてきました。皆さんの人格は、常に正しい選択をすることで確かなものになっていきます。正しい選択をしようと努めることで、皆さんは生涯を通じて恩恵を受けます。

サタンも他のどのような力も、成長する人格を弱めたり壊したりすることはできません。それができるのはあなたの不従順さだけです。サタンが躍起になって力を集中させて皆さんを誘惑し、人格を弱らせる決断をさせようとするのはそのためです。サタンは、破壊的な選択を魅力的で、しかも正しいものに見せかける名人です。ですから気をつけてください。人生の重要なこの時期に、皆さんは多くの選択に迫られます。皆さんが下す決断は、現在と永遠の生活に深い影響を及ぼします。懸命に、そしてよく祈って選択してください。



聖文を研究し、祈り、
またほかにも方法が分かっていることを行って、
家庭の中で福音の光を
明るくともし続けてください。
受けたときのままに神殿の聖約を敬い、
聖約に忠実に生活してください。
啓示された神の言葉の泉を堪能してください。
神の言葉にしっかりつかまってください。

永遠の真理に基づいて決断する。

決断を下す方法は二つあります。(1) 状況を基にして決断する方法と(2) 永遠の真理を基にして決断する方法です。サタンは状況に応じて選択するよう勧めます。ほかの人たちはどうしているのか、社会的政治的に受け入れられそうなものは何か、いちばん手っ取り早く満足できる反応を得られるものは何かといった状況です。決断時には非常に魅力的に見えるこの方法は、ルシフェルに人を誘惑する最も幅広い機会を与え、ルシフェルは有害で破壊的な結果を招く決断をするよう人を誘うのです。

この方法には、決断に導く一貫した基本となる価値体系、つまり基準がありません。決断はその時々で最も魅力的に見えるものに従ってなされます。この方法を選択する人は、主の助けを期待することはできません。その人自身の力と、助けたいと思ってくれる人の力に任されるのです。悲しいことですが、神の子供のほとんどがこの方法で決断しています。この世がひどく混乱しているのはこのためです。

主の規範は、神の子供たちが永遠の真理に基づいた決定を下すためにあります。そのためには、神の戒めを中心にした生活を送り続けることが求められ、そうすることで、祈りと聖霊の導きの助けを受けて、不変の真理に添った決断を下すことができます。自分自身の力と能力に加えて、必要なときには神からの導きと力を享受するでしょう。皆さんの行動は予期できるものとなり、皆さんの影響が及ぶところにいるすべての人を祝福します。皆さんの人生は目的と平安と幸福に満ちた有意義なものとなるでしょう。

楽な人生を送れる保証など、だれにもありません。試練にぶつかり克服することで、わたしたちはより早く成長し学びます。皆さんは自分自身を証明し、成長し、克服するためにここにいます。これからも常に試練は生じ、そのために人は考え、適切な判断を下し、義にかなった行動ができるの

です。試練によって成長するのです。しかし中には、決して遭遇する必要のない試練があります。重大な背きに伴う試練です。そのような悲劇を絶えず避けるなら、皆さんの生活はもっとシンプルで、幸せなものになります。皆さんの周りで、そのような選択をしない人たち、間違っただけや悪いことをし、悲しみをもたらす人々を目にするでしょう。皆さんの生活の仕方が異なることを、また、選択の際に聖霊の導きを受け、助けを受けてきたことを天の御父に感謝してください。聖霊の促しはこれからも皆さんを正しい道にとどまらせてくれます。

決断するときには永遠の真理を基にするようにと、福音はわたしたちに教えています。一時的に心動かされる利益を得ようとして、あるいは価値がないと自分で分かっている事柄にかかわろうとして、その人生の法則に対する例外を作ること決してしないでください。生活の基盤を誤ったところに求めたために、人生のボールを取り落とした若い夫婦や個人を大勢見てきました。そのような人たちは、わずかな影響力や地位を得るために、また、人に受け入れられるために妥協するよう誘惑を受けて、真の原則からそれて行くのです。彼らは、後でもっと良い結果がもたらされるはずと理屈をつけ、道から外れることを正当化します。長い目で見ると、そのような生活の行き着く先は、決して皆さんが望むようなところではありません。

決心したことを守る

価値ある生活を送るという決心をどのように守りますか。決心したことが周囲の圧力で損なわれないようにするにはどうしたらいいでしょうか。結婚の祝福を受けている人は、^{はんりよ}伴侶と子供たちとの交わりを楽しんでください。決して互いの間に隠し事があるとはなりません。隠し事のないことが強力な保護手段となり、義と幸福を存続させます。何か

わたしたちが
必要としているのは、
家庭の神聖さと安全を保ち、
実りある人生の土台として
神への信仰と
神の戒めに対する
従順さが教えられている
健全な家族を守る
母親と父親です。



決めるときは一緒に行ってください。

聖文を研究し、祈り、またほかにも方法が分かっていることを行って、家庭の中で福音の光を明るくともし続けてください。受けたときのままに神殿の聖約を敬い、聖約に忠実に生活してください。啓示された神の言葉の泉を堪能してください。神の言葉にしっかりつかまってください。安息日を聖く守ってください。つまり簡単に言えば、なすべきであると分かっていることを続けて行ってください。どこに行っても、教会とのつながりを密接に保ち、教会でいつも奉仕してください。独身の間は、当てはまるかぎりこれらと同じ目標を保ってください。

神の優れた息子娘として、皆さんは大いに必要とされています。まさにこれらの原則に対して妥協するよう圧力が強まる中、原則を支持する皆さんのような男性や女性が多く、直ちに必要です。政治的に正しいことや社会的に容認されていることのためではなく、主が定められた正しいことのために気高く、勇気をもって行動する男性、女性が必要なのです。高潔な人生を送りたいという動機を人々に与えるような、霊的で義にあふれる影響力を持つ人々をわたしたちは必要としています。誠実さを備えた政治家、正直で道徳的に清いビジネスマン、正義と法体制を守る弁護士、正しいからという理由で原則を維持する政府関係者が必要です。何にも増してわたしたちが必要としているのは、家庭の神聖さと安全を保ち、実りある人生の土台として神への信仰と神の戒めに対する従順さが教えられている健全な家族を守る母親と父親です。

皆さんは、その輝く光には欠かせない一部、つまり、国家

と家庭の道徳心を向上させる、義にかなった影響力の一部になることができます。皆さんの友人の多くは今のことだけを考えて生活しています。原則や永遠の律法、真理の必要性を理解していません。今日の状況、あるいは翌日に利益を得るチャンスがあるかどうかを基に物事が決められている環境で彼らは育ったのです。彼らにもっと良い人生、もっと良い方法を示してください。神が誤りであると定められたという理由で、誤っているというものがあるのです。人にどんな強い影響力があろうと、人の考えで真理を決めることはできません。真理は、この地の創造前に全能なる神によって定められました。真理は変化することなく、永遠に存続します。

権力や影響力、物質的な豊かさから来る、一時的な強い幸福感というものは確かにあります。しかし、真に永続する幸福、つまり、自分自身に心から正直になれる朝の早い時間に感じる幸福は、神の教えに従順であることによるのみ得られます。将来のより大きな善のために、正直、誠実、純潔、徳を身に付け、魅力的なものやそのとき望ましく見えるものでさえも進んで手放す意志を持たなければなりません。つまり、真の原則に従うために聖壇にすべてをささげることが求められる状況にあるとき、喜んでそれに従う意志についてわたしは言っているのです。

計画に従うことにおいて成功する

皆さんに従ってほしいと主が望んでおられる計画において成功するために、10の具体的な提案をしましょう。

1. 家庭、教会での奉仕、仕事、地域社会など、生活のあらゆる場面であなたが従うべき一連の原則を定める。多くの

人は生活を区別して、教会用の標準、仕事用の標準、ほかの面ではまた別の標準というようにそれぞれに異なる標準を定めようとしています。わたしは強く、強く勧告します。そうしてはいけません。理にかなった標準はただ一組しかありません。それは、信仰、奉仕、従順、高潔の大切さを伝えているイエス・キリストの教えです。

2. 標準に例外を設けない。 標準に関して決して妥協しないでください。わたしたちを守るための主の方法の一つは、わたしたちに人生の助言を与えることです。一方、わたしたちを破滅させようとするサタンの方法の一つは、人生で絶対に重要であるとわたしたち自身が知っている事柄から、わたしたちを巧妙にそらすことです。わたしは人生の大半をワシントン D.C. で暮らしましたが、思い出すことがあります。あるとき、政府の代表者として選ばれた人たちがやって来ました。彼らは教会員でした。そのうちの何人かは、仕事を通じて救い主の教えを生かし、立派な僕となりました。そのほかの人たちは仕事を始めて間もなくすると、理屈を考え始めるようになりました。「ほかの人たちともっと親しくなって、もっと理解を得たら、もっとよく奉仕できる部署に就けるかもしれない。」 こうして彼らは、人生の指針であると分かっている標準に対して、小さな例外を設け始めました。今、彼らのほとんどはその標準を覚えてさえいません。標準に例外を設けたために彼らは人生の指針を見失ってしまいました。同じ間違いを犯さないでください。

両親と教会指導者から受けた教えに忠実であってください。それらは大変に価値のあるものです。正規の学校教育に、主の教えについてあなたが知っていることと、あなたの手本となっている立派な人たちの模範を合わせると、それが堅固な土台となります。皆さんは多くの成果を上げ、人のために価値あること

を成すでしょう。

3. 忠実である。 両親と愛する人たちに忠実であってください。何よりも、救い主イエス・キリストに忠実であってください。あなたの行動が主の教えに一致するとき成功がもたらされます。仕事を探すときは、難しくてもやりがいのある、能力をさらに高いレベルに引き上げる仕事を見つけてください。厳しい仕事になるかもしれません。しかし、あなたは成長し、進歩して、いっそう善に貢献できるようになります。皆さんはまだ、自分がどのような人間で、人生で何を達成できるのかまったく分かっていません。皆さんは、今想像できるよりはるかに優れた可能性を持っているのです。

4. 皆さんの奉仕する場所として主が望んでおられるところに行けるよう、ふさわしい生活をして導きを受ける。 皆さんが主の戒めを守り、あらゆる手段を尽くして主の教えに従うよう努力するなら、主は導きを与えることがおできになります。

5. 奉仕する。 知っていることを人々に分かち合うことで、皆さんに幸福がもたらされ、ほかの人たちも祝福を受けます。

6. 笑顔。 毎日冗談を言っていなければならないという意味ではありません。しかし、時折出る気の利いた冗談はガス抜きになります。人生はまんざら捨てたものではありません。皆さんはもうすぐ、だれもが問題を抱えている、あなたの問題のことまで聞きたくないと思っていることを知るでしょう。少し問題をわきにおいて、ほほえんでください。預言者たちのように、良いユーモアのセンスを持ちましょう。普段わたしたちが話していることについて幾つか披露できたらいいのですが、ふざけたものでも、不適切なものでもなく、ただセンスのいいユーモアです。毎朝どんな気分であっても、笑顔で目が覚める秘策を教えましょう。寝るときにハンガーを口に入れて





ベッドに入るので。センスのいいユーモアはとても役立ちます。忘れないでください。

7. 不平を言わない。人生はいつも公平であるとは限りません。これが事実です。しかし人生はいつもすばらしい機会に満ちています。ただ皆さんはそれを見つける方法を知らなければなりません。考え得るかぎり懸命に働いていたときのことを覚えています。当時の上司は、わたしのアイデアも提案も、わたしがした仕事のすべてを横取りし、それらを自分の提案であるかのように自分の上司に渡していたのです。しばらくはとても腹が立ちました。それについて考えていたときある考えが浮かび、それ以後、自分の取り組んでいることや行おうとしていることをすべて書いて報告書を作り、彼に渡すことにしました。同時に、そのコピーをその上司にも送ったのです。彼はそれが気に入らませんでした。結果は非常にうまくいきました。

8. 教会での割り当てをいつも引き受ける。これは何か特定の召しを求めるべきだと言っているわけではありません。世界のどこに行っても、主が皆さんをどこに連れていらしても、奉仕したいということを管理役員にいつも申し出てください。そしてどこでどのように奉仕するかは、その役員にらせてください。神にかかわることと、神に仕える方法につながっててください。

最後の二つが最も重要です。

9. 神殿に行く。有効な神殿推薦状を持ち歩いてください。ヤングアダルトの中には、伴侶との結び固めの時まで神殿で自分のエンダウメントを受けるのを待ちたいと思っている人もいます。しかしほとんどすべての人が神殿推薦状を得ることができ、またそれを持っていることができます。推薦状を持つことで、皆さんは霊的なことに波長が合い、人生で最も重要な事柄を思い起こすことができ、人に

少し問題をわきにおいて、ほほえんでください。

預言者たちのように、

良いユーモアのセンスを持ちましょう。

対して大いに奉仕するよう励ましを受けます。

10. 救い主イエス・キリストを人生の模範とする。主の教えを人生の手引きとし、それに対して決して例外を設けてはなりません。

今述べてきたことをよく祈って考えていただけますか。皆さんの義にかなった模範から進んで導きを受けようとしている人が大勢います。皆さんはこれまで導きを受けてきたのですから、皆さんに従う人々に対して最高の模範を示す義務があります。彼らが祝福を受けるだけでなく、皆さん自身の生活も豊かになるでしょう。良心と真理に根差した原則に基づく個人の行動から、物事を良い方向に導く大きな影響力が生まれます。その力について知ってください。義と誠実さと確信に関して謙虚な模範になるという決意が人生の一瞬一瞬に反映する生活を送ると決心してください。こうした生活を送ることで、あなたは地上に來た目的を必ず遂げ、成功できます。

正しかれ

わたしはこの話の始めに、分かち合う原則が真実であることをわたし個人の生活で証明してきたと伝えました。強い力に対抗する原則を守るという自らの選択を実行することが、個人的に重大な損失となるかもしれないときが何度ありました。しかし、わたしの決意は翻りませんでした。わたしは正しいことを行うと決心していました。ところが、予想していた損失が出たことは一度もなかったのです。どういうわけか時間がたつと、正しいことをしたことではあるかにすばらしく、有意義な機会が開かれたのです。どれほど過酷な試練であっても、主と主の約束を信頼すれば、間違った方向に行くことは決してないことを証します。

一つの経験をお話ししましょう。わたしが合衆国海軍に勤務していたときの上官はハイマン・G・リックオーバーという非常に厳しい提督でした。わたしが伝道部会長に召されたとき、提督は召しを受けることをやめるよう説得しようとした。わたしを召したのは神の預言者ですと、わたしが言うと、彼は「それがモルモンやり方なら、これからわたしのプロジェクトでモルモンは働かせない」と言いました。アメリカ合衆国アイダホ州には、このプロジェクトの仕事を入源として当てにしている家族が多くいることを知っていたわたしは、彼らのことが気がかりでした。

祈っていると、ある歌が心に浮かんできました。「正しかれ……神は守る、義をなせ。」（「正しかれ」『賛美歌』151）わたしは正しいことをしました。わたしの後任となる人に伴う難題がどのように希望どおりの結果となるのか、わたしには分かりませんでした。しかし、「恵みは待つ、義をなせ」なのです。すべてが非常にうまくいきました。

わたしが伝道に出ると知ったとき、リックオーバー提督は「もうおまえなど会いたくもないし、おまえとは口も利きたくない」と言いました。提督のもとで勤務する最後の日、わたしは面会を求めました。秘書は息をのみました。提督が怒りを爆発させるといったのです。

部屋に入ると彼が言いました。「スコット、座りたまえ。用事は何だ。わたしは君の決心を変えようとあらゆる手を尽くした。今度は何が言いたいんだ。」

わたしはモルモン書を彼に渡して言いました。「提督、わたしは神を信じています。わたしたちが最善を尽くすとき、神は助けてくださることを信じています。」

そのときのリックオーバー提督の言葉は、わたしがまったく予想していなかったものでした。「伝道が終わったらここに戻って、またわたしと一緒に働いてほしい。」

「正しかれ……神は守る、義をなせ」

皆さんが主の望まれるような善の働き手となるために、主が皆さんの決心を強め、皆さんがもっと信仰を働かせ、人格を高められるよう励ましてくださいますように。主が生きておられることを証します。ふさわしい方法で主の助けを求めるなら、主は導いてくださいます。持てるすべての力をもって証します。イエス・キリストは生きておられます。地上における主の業を導いておられます。

主イエス・キリストの使徒としてわたしたちは非常に神聖な経験をし、その結果として主の御名と力について証をすることができます。深い確信をもって証します。イエス・キリストは皆さんを愛しておられます。皆さんの人生に導きをお与えになります。大きな試練に遭ったとき、どの方向に行くべきか迷うとき、ひざまずいて天の御父の祝福を求めてください。救い主と主の贖い^{あがな}を信じる信仰を人生における成功の岩とし、土台としてください。■

2011年4月21日に行われたブリガム・ヤング大学卒業式の説教から。全文〔英語〕は speeches.byu.edu からご覧いただけます。

成功した人生を送るために

1. 人生の導きとなる原則を定める。
2. 標準に例外を設けない。
3. 忠実でいる。
4. 主の導きを受けられるよう生活する。
5. 奉仕する。
6. 笑顔。
7. 不平を言わない。
8. 教会での割り当てをいつも引き受ける。
9. 神殿で礼拝する。
10. 救い主の模範に従う。

早見表

2部構成の第1部

アブラハムからイエス・キリストまで

(第2部は2014年の次号以降に掲載)

旧約聖書時代の偉大な族長であったアブラハムは、末日聖徒イエス・キリスト教会に加わるすべての会員と密接に関連しています。アブラハムの人生と彼が神と交わした聖約、そして彼の子孫について理解することは、わたしたちの人生や、イエス・キリストの弟子としてわたしたちが神と交わす聖約をより完全な方法で理解する助けになります(『聖句ガイド』『アブラハムの聖約』の項。Scriptures.Ids.org参照)。

約4,000年前、エホバ(イエス・キリストの前世の名前)は、アブラハムの子孫がすべての民にとって祝福となること、またこの聖約によって、末の日に偉大な出来事が起こることをアブラハムに約束なさいました(アブラハム2:9-11参照)。イエス・キリストは、何世紀にもわたって多くの民とこの聖約を再三確認されました。この現代に主は、預言者ジョセフ・スミスに対してアブラハムの聖約を新たにされました(教義と聖約124:58;132:30-31参照)。この回復された聖約を交わすことにより、わたしたちは永遠の福音によって祝福を受け、能力を授かり、旧約の時代と同じように、永遠の結婚を含む聖なる神権のすべての儀式を受けることができます(『聖句ガイド』『聖約』の項。Scriptures.Ids.orgを参照)。わたしたちの祝福師の祝福には、血統に関する靈感された宣言が含まれています。血統を通して、信仰を働かせ、悔い改めて、神権の儀式を受け、自ら交わした聖約を守り最後まで耐え忍ぶことにより、これらの祝福を享受することができます。

この年表を学ぶことにより、神の幸福の計画におけるわたしたちの位置をさらにはっきりと理解できるでしょう。

ア ブ ラ ハ ム の 聖 約

1 アブラハムはカルデアの地のウルで生まれました。彼の父は偽りの神々を礼拝していた。
アブラハム1:1、5-7、27

2 アブラハムはバプテスマを受け、メルキゼデクから神権を受けました。
教義と聖約84:14;アブラハム1:2-4

3 エホバ(イエス・キリスト)はアブラハムに現れ、偽りの神々への犠牲として殺されるところを救出されました。
アブラハム1:8-16

4 エホバはアブラハムがウルを離れるように命じ、アブラハムの働きによって神の御名が永遠にこの世に知られることを約束されました。
アブラハム1:16-19

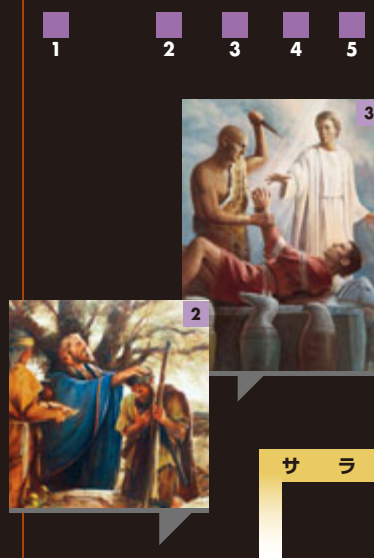
神権時代

東半球

西半球

*紀元前2025年

*紀元前2000年



アブラハム

集合

12 預言
アブラハムの子孫の幾人かは、エジプトの地で「旅びと」となる。
創世15:13-14

13 神が命じられたので、サラはつかえめのハガルと結婚するようにアブラハムに勧められた。
創世16:1-4;教義と聖約132:28-35

14 神の天使がハガルに現れて、彼女の子孫もアブラハムの子孫として大きな祝福を受けると告げた。イシマエルが誕生した。
創世16:7-16

15 エホバがアブラハムに現れて主の約束を再び確認された。アブラハムは聖約のしるしとして、一族の男子すべてに割礼を施した。
創世17:1-27

5 アブラハムと妻のサラは、家族のほかの人々とともにハランの地に住んだ。
アブラハム 2:1-5

6 エホバはアブラハムと聖約を交わされた。アブラハムの子孫が、この地上のすべての家族を祝福することになる。
アブラハム 2:6-11

7 アブラハムとその家族はカナンに定住した。エホバは、アブラハムの子孫が義にならないうちに、この地を与えたと約束された。それから彼らはエジプトに旅立った。
アブラハム 2:6, 12-25

8 アブラハムは、ウリムとトンミムによって、神の御座、前世、地球の創造を見た。
アブラハム 3-5 章

9 エジプトでアブラハムは、福音の偉大な伝道者となり繁栄した。
アブラハム書からの模写、第三

10 アブラハムとその家族はカナンに戻った。エホバはアブラハムとの永遠の聖約を確認された。
創世 13:1-4, 12-18

11 エホバの言葉が幻のうちにあらわされたとき、アブラハムは子供を授かることを願った。主は御自分が交わされた聖約を再び確認された。
創世 15:1-21

アブラハム

ヤレドの兄弟(ヤレド人)

*紀元前1950年

*紀元前1900年

*紀元前1825年

6 7 8 9



9

10 11 12 13 14 15 16 17 18



11



17

19 20 21 22



21



10



14

イサク



19

リベカ(イサクの妻)

ハガル

イシマエル

イシマエル人

ケトラ

ミデアン人

散乱

集合

16 預言
サラはイサクという名の息子を授かり、イサクによりアブラハムの聖約が成就する。
創世 17:15-21

17 イサクの誕生。エホバは、イシマエルとイサクの両方を祝福するとアブラハムに告げられた(預言 16 参照)。
創世 21:1-5, 12-13

18 預言
ハガルの息子イシマエルは、「大いなる国民」の父となる。イシマエルの子孫は、12の民または部族となる。
創世 22:17-20; 25:12-16

19 アブラハムが自分の息子イサクを犠牲としてささげる意志を表した後に、エホバは御自分が交わされた聖約を確認された。
創世 22:1-19; モルモン書ヤコブ 4:5

20 神が命じられたので、アブラハムはケトラと結婚した。彼らの6人の息子も大いなる祝福を受けることになる。
創世 25:1-4; 教義と聖約 132:28-35

21 アブラハムは自分のすべての息子たちを祝福し、その所有物を与えた後、175歳で死んだ。
創世 25:5-10

22 エホバはイサクに現れ、イサクと妻のリベカ、および彼らの子孫にアブラハムの聖約の成就を約束された。
創世 26:2-5, 24-25; 教義と聖約 132:37

23 エホバはヤコブに現れ、アブラハムの聖約をヤコブとその子孫に約束された。

創世 28:10-22

24 神が命じられたので、ヤコブはレア、ラケル、ビルハ、ジルバと順を追って結婚した。12人の息子と1人の娘が生まれた。

創世 29-30章; 教義と聖約 132:37

25 エホバはヤコブに、カナン約束の地に戻るよう命じられた。ヤコブの名前がイスラエルに変えられた。

創世 31-32章

26 エホバはベテルでヤコブ(イスラエル)に現れ、アブラハムの聖約を新たにされた。

創世 35:1-13

27 エホバはイスラエルに現れ、家族を連れてエジプトに行くよう命じられた。

創世 46:1-7

28 イスラエルは、自分の息子たちと孫のエフライムとマナセ、およびその家族に祝福を与えた。イスラエルは、神がいつの日かカナン約束の地に戻れるように助けてくださると約束した。

創世 48:21

29 預言
イスラエルの族長の祝福の一部として、ヨセフが多くの子孫に恵まれると約束された。

創世 48:19; 49:22-26

神権時代

東半球

西半球

モーセ

ヤレドの兄弟(ヤレド人)

紀元前1800年

紀元前1600年

紀元前1300年

23

24

25

26

27

28

30

31

29

32

33

34

35

36

37

38

エサウ

ユデテ

バスマテ

エドム人

レア

ルベン

シメオン

レビ

ユダ

イッサカル

ゼブルン

ヤコブ

ジルバ

ガド

アセル

ビルハ

ダン

ナフタリ

ラケル

ヨセフ

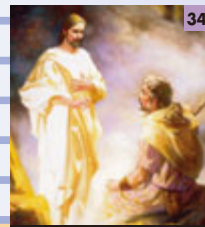
エフライムとマナセ

ベニヤミン

イシマエル人

ミデアン人

モーセ、アロン



集合

散乱

集合

37 エホバはヨシュアに現れ、主の聖約を新たにされ、イスラエルの子らが受け継ぎとしてカナンの地に入るように命じられた。

ヨシュア 1:1-9

38 カナンに入植して数年たつと、イスラエルの子らは聖約を守ることをやめてしまった。彼らは敵に悩まされた。

士師 2-3章

39 預言者ナタンを通して、エホバはダビデ王とその子孫に対して永遠の聖約を結ばれた。

サムエル下 7:1-17; 教義と聖約 132:38

40 預言
北の王国(イスラエルと)と呼ばれるの民と南の王国(ユダ)の民はすべての国々の中に散らされる。

アモス 9:5-10; ミカ 3:9-12

41 預言
メシヤ(イエス・キリスト)は、この世の罪とその贖いのために苦しめられる。

イザヤ 53章

42 預言
主は御自分の民の残りの者を集め、すべての国々のために旗を立てられる。

イザヤ 11:11-12; アモス 9:9

43 預言
主は御自分の民を慰め、エルサレムを贖い、御自分の力をすべての国々に示される。

イザヤ 40:1-2, 11; 41:10; 52:9-10

30 エジプトでイスラエルの子孫の数が増え、イスラエルの子らとして知られるようになった(イスラエルの家とも呼ばれた)。(預言 12 参照)
創世 50 章

31 預言
神は預言者(モーセ)を「立てて」、エジプトで束縛を受けているイスラエルを解放される。
ジョセフ・スミス訳創世 50:24, 34-36 (『聖句ガイド』); 2ニーファイ 3:10, 17

32 預言
イスラエルの家族が散乱し、その一つの「枝」がアメリカ大陸に定住する。
ジョセフ・スミス訳創世 50:25 (『聖句ガイド』); 2ニーファイ 3:3-5, 16

33 預言
一人の「えり抜きの聖見者」(ジョセフ・スミス)がアブラハムと交わされた神の聖約に関する知識を回復する。
ジョセフ・スミス訳創世 50:25-33 (『聖句ガイド』); 2ニーファイ 3:6-15

34 エテロから神権を受けたモーセに主が現れ、イスラエルの子らがエジプトを離れた(預言 31 参照)。
出エジプト 3:1-10; 13:17-22; 教義と聖約 84:6

35 イスラエルの子らはシナイ山で、アブラハムの聖約を守ることを約束した。
出エジプト 19:3-9; 24:3

36 イスラエルの子らが約束を破ったので、肉の戒めである低い律法を受けた。
出エジプト 32-34 章; ガラテヤ 3:19-24; 教義と聖約 84:19-26

紀元前1000年

紀元前700年

紀元前400年

紀元前100年

39



ダビデ王

40 41 42
43 44

イザヤ**

45



45

46

47

48



47

49



49

ネヘミヤ

50



50

預言: **ゼノスの物語** (紀元前約 1800 - 紀元前 400 年)

イスラエルの家は朽ち始めた1本の栽培されたオリーブの木のようなものである。そこで果樹園の主人は養いを与えたので、新しい自然な枝が生え始めた。主人はそれらの枝を切り取って、果樹園のほかの木に接ぎ木をした。主人は栽培した木から悪い大きな枝を切り取って燃やし、その木に野生のオリーブの木の枝を接ぎ木した。

モルモン書ヤコブ 5:3-14 (第2部に続く)



リーハイ (ニーファイ人とレーマン人)

アラビアの数部族

北王国 (列王上 12:2-20 参照)

北王国 散乱 (イスラエルの失われた部族)

南王国

南王国 散乱 (列王下 25:1-10 参照)

44 預言
大いなる福千年の間、地球は新しくなり、すべての病と悲しみは終わりを告げる。
イザヤ 25:6-9; 33:20-24; 35 章; 61:2-5

45 北の王国の民は、その罪悪のためにアッシリヤに散らされた(預言 40 参照)。
列王下 17:5-18

46 預言
ユダヤ人(残りの者)の幾人かが集まってエルサレムに帰還し、主に仕える。
エレミヤ 24:4-7

47 エホバはリーハイとその家族にアブラハムの聖約を立てられた。彼らはエルサレムを去り、アメリカ大陸における民となった(預言 29, 32 参照)。
1ニーファイ 1:2-18

48 南の王国の民はアブラハムの聖約を拒んだために、バビロンに散らされた(預言 40 参照)。
列王下 25:1-10

49 「ユダヤ人」と呼ばれるイスラエルの子らの幾人かがエルサレムに帰還し、神殿を建て直す。エズラは神との聖約を守るように熱心に民に勧めた(預言 46 参照)。
ネヘミヤ 8-10 章

50 ハスモン家(マカベア家)が、カナンの地にユダヤと呼ばれるユダヤ人の独立国家を建てた。

** 伝統的に信じられている血統





1903年、フランシス・M・ライマン長老は
サンクトペテルブルクのサマーガーデンで奉獻の祈りをささげた。
この絵は、ロシア人の画家が描いたもの。

とアルマはロシアで最初にバプテスマを受けた改宗者となりました。

数年後、リンドロフ夫妻の改宗とロシア政府が推し進めていた社会改革に背中を押され、十二使徒定員会のフランシス・M・ライマン長老（1840 - 1916年）が、ロシア帝国に宣教師を派遣する計画に着手しました。1903年、ヨーロッパ伝道部の伝道部会長を務めていたライマン長老は、ロシア帝国に赴き、福音の伝道のためにその地を奉獻しました。8月6日と9日、長老はサンクトペテルブルクとモスクワで祈りをささげ、その地の統治者と、帝国に住む「イスラエルの血を濃く引く」多くの民を祝福して下さるように主に願い求めました。⁴ 彼はまた、「誠実で正直な人々の心が真理を求めるとしてロシアの民に母国語で福音を宣べ伝えるために知恵と信仰にあふれる僕を遣わして下さるようにと嘆願しました。」⁵

ライマン長老はミハイル・マルコフという宣教師を、当時ロシア帝国に属していたラトビアのリガに派遣しました。また、教会本部に手紙を書き、近い将来、ロシアに宣教師を召したいと願っていることを知らせました。しかし、ソルトレーク・シティの教会指導者は、ロシアに宣教師を送るには、より慎重に検討する必要があると感じていました。ロシアでは、ロシア正教に反することを説くことは違法だったからです。間もなくして、現地当局の命令により、マルコフ兄弟はリガを離れることになりました。⁶ ロシアでは社会的にも、政治的

にも緊張が高まり、第一次世界大戦の重圧により事態はさらに悪化し、様々な革命や内戦が勃発した結果、ロシアは戦火に包まれました。ソビエト連邦が樹立され、その後冷戦が始まったことで、ロシアに宣教師を派遣する試みをそれ以上続けることは不可能になったのです。

しかし、ソビエト時代にも、末日聖徒は回復された福音をロシアに広める準備を続けました。その一人がアンドレ・アナスタシオンです。アンドレはウクライナのオデッサからの移民で、1918年にバプテスマを受けた後、モルモン書をロシア語に翻訳し始めました。1970年にモスクワを訪れたアンドレは次のように記しています。「どこに行っても、粗末な身なりの人々が暗い表情でうつむきながら、群を成して移動している姿を目にした。わたしは夜に2回赤の広場に立ち、そのようなロシアの人々に福音を伝えるための道を開いてくださるよう主に懇願した。」⁷ 大部分がアンドレの手によって訳されたロシア語のモルモン書の初版が、1981年に出版されました。その後、多くのロシア人がモルモン書のメッセージを受け入れ、母国で開拓者となり、自分たちのために人々が願い求め、祈ってきたことを成就しました。

開拓者

1989年、サンクトペテルブルク（当時はレニングラード）に住むユーリー・テレベニンとリュドミラ夫妻は、娘のアンナとともにハンガリーのブダペストに住む友人たちを訪ねてきました。末日聖徒の友人が3人を教会に誘ってくれました。彼らは教会で御壺を感じ、宣教師と会う決意をしました。3人はその後バプテスマを受けました。初めはサンクトペテルブルクの教会員は彼らだけでしたが、テレベニン家に仲間ができるまでそれほど長くかかりませんでした。フィンランドの教会員がすでにロシア人に福音を伝えていたのです。この中には、ロシアで最初にバプテスマを受けたロシア人、アントン・スクリプコがいました。

当時、ロシアでは政変が起きていて、モスクワで生活し働いていたアメリカ人がロシア人の友人や知り合いに働きかけ始めました。ドーン・ソートンは1989年にガリーナ・ゴンチャロワと出会い、二人はよく宗教の話をしました。ソートン兄弟は後にこう回想しています。「[ガリーナに]モルモン書とジョセフ・スミスのパンフレットを渡したとき、とても驚くべきことが起きました。まるで部屋のすべての光が集められてモルモン書に注がれたように見えたのです。わたしたちは



神殿に参入し続けています。ビザの問題、長距離の移動、高額な旅費といった理由で、頻繁に神殿に参入することはできませんでした。

1991年12月、ブイボルグに住むアンドレイ・セミオノフとマリナ夫妻の家族は、神殿で結び固めを受けた最初のロシア人家族となりました。セミオノフ兄弟は「スウェーデン・ストックホルム神殿で永遠の結び固めを受けた後、生活に特別な喜びがもたらされました」¹¹と言います。その後の数年間、彼はロシアからスウェーデンの神殿を訪れたすべてのグループに同行しました。

後に、伝道部の指導者が神殿の団体訪問

ついにロシアにさらに近い場所に神殿ができました。2006年にゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910 - 2008年)がフィンランド・ヘルシンキ神殿を奉献したのです。そして2010年、ロシア全土の末日聖徒が歓喜に沸く中、トーマス・S・モンソン大管長がウクライナ・キエフ神殿を奉献しました。この神殿は旧ソビエト連邦の領域内に建てられた最初の神殿で、忠実なロシアの末日聖徒にとって神殿の祝福がさらに受けやすくなりました。

ロシアの教会

ウクライナの神殿が奉献されたことで、ロシア



1981年——
モルモン書が
ロシア語で
出版される。



1991年——
モルモンタバナクル合唱団が
ソビエト連邦を訪問する。
コンサートの後、ロシアの官僚により、
教会が正式に承認されたことが
発表される。

1991年——
12月、ソビエト連邦が
正式に消滅し、
ロシア共和国が
ロシア連邦となる。



を組織し始めました。その最初の一行が1993年9月にモスクワからストックホルムまで旅をしました。これらの神殿訪問は、ロシア各地の会員の献身を最もよく表していました。

ニジニー・ノブゴロドに住むベルシニン家族が最初にスウェーデン・ストックホルム神殿を訪れたのは2000年のことでした。 Санктペテルブルクに移動した後、セルゲイとベラと娘のイリーナは様々な町から集まったロシア人の末日聖徒の一団に加わり、バスとフェリーを乗り継いで神殿に行きました。イリーナは神殿で死者のためのバプテスマを受け、両親に結び固められました。「この旅で証^{あかし}や多くの祝福を得ました」と彼女は振り返って言います。「それぞれがささやかな証を受けましたが、それらは一つに合わさり、わたしたちを助け、さらに霊的に成長する力を与えてくれました。」¹²



「モルモン・ヘルピング・ハンズ」として組織され、2013年にモスクワ近郊の学校の校庭や湖で清掃活動に協力するロシアの末日聖徒たち。

会員数の推移

1989年——20人
1998年——9,179人
2008年——19,946人
2013年——21,888人



ロシアに関する教会の統計*

ステーキ——2
地方部——3
ワードおよび支部——98
伝道部——7
最奇りの神殿——
ウクライナ・キエフ、
フィンランド・
ヘルシンキ、
韓国・ソウル

*2013年6月現在

の会員たちは母国における教会の将来に対する希望を強められました。奉献式の後、モスクワに住むウラジーミル・カバノビーは、「教会は発展し続けるでしょう。わたしにはここ〔ロシア〕にシオンのステーキが幾つもできる日が見えます。」¹³ それから1年足らずの2012年9月、ネルソン長老はサンクトペテルブルクに二つ目のステーキを組織しました。

これらの出来事は、ロシアの末日聖徒が20年間開拓の業に奉仕し、教会の土壌を作り、育ててきた結果ですが、ロシアの教会歴史では新しい章が始まったばかりです。2012年6月にヨーロッパ東地域（ロシアも含む）の聖徒を訪問した後、十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は、主がその地において御自身の業を導いておられることを証しました。「主の御霊がこの地域を静かに覆って



2002年——
9月、ゴードン・B・
ヒンクレー大管長が
教会の大管長として
初めてロシアを訪れる。



2008年——
アナトーリー・
レシェトニコフが
ロシア人として初めて
地域七十人に召される。

2011年——

6月5日、ロシアで最初のステーキ、
ロシア・モスクワステーキが組織される。



2012年——
9月9日、ロシア・
サンクトペテルブルクステーキが
組織される。

います。わたしたちはこれまで想像もしなかったようなことを目にするでしょう。」¹⁴ ロシアの末日聖徒の開拓者が引き続き奉仕し、イエス・キリストの福音に従って生活し、福音を喜んで受け入れ、神殿を中心とするなら、さらに多くのステーキが組織され、教会はロシアで発展し続けるでしょう。この広大な帝国における末日の神の王国に関して預言者ジョセフ・スミスが見た事柄が、わたしたちの目の前で成就しているのかもしれない。■

注

1. ジョセフ・スミス, *History of the Church*, 第6巻, 41で引用。預言者が述べた「そして現時点では説明できない……重要な事柄」とは何かは不明である。ロシアの国そのものか、伝道部か、あるいは宣教師のメッセージを指すのか、詳細は分かっていない。
2. ジョージ・J・アダムズは、ジョセフ・スミスの死後、ブリガム・ヤングが十二使徒定員会会長として教会を導くことを受け入れず、教会を離れた。
3. アウグスト・ホグランドがスカンジナビア伝道部会長にあてた書簡, 1895年7月9日付, スカンジナビア伝道部歴史文書, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー, カフリレ・メヘル "Johan and Alma Lindlof: Early Saints in Russia" *Ensign*, 1981年7月号, 23で引用
4. ジョセフ・J・キャンノン "President Lyman's Travels and Ministry: Praying in St. Petersburg for the Land of Russia" *Millennial Star*, 1903年8月20日付, 532

5. ジョセフ・J・キャンノン "President Lyman's Travels and Ministry: The Visit to Moscow, the City of Churches" *Millennial Star*, 1903年8月27日, 548
6. ウィリアム・ヘール・ケヘル "Mischa Markow: Missionary to the Balkans" *Ensign*, 1980年6月号, 29 参照
7. アンドレ・アナスタシオンが十二使徒評議会にあてた書簡, 1970年11月8日付, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
8. ドーン・ソートン "The Beginnings of the Moscow Branch" ロシア・モスクワにおける教会の始まりに関する文献や写真 (1990 - 1992年), 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
9. ビヤチェスラフ・エフィモフの言葉, ゲリー・L・ブラウニング "Russia and the Restored Gospel" (1997年), 73で引用
10. アリソン・ソープ・ポンド, フィドルス・ハブラフマノビッチ・ハスビューリンの口述記録, 2010年8月18日付参照, 教会歴史図書館, ソルトレーク・シティー
11. アンドレイ・セミオノフの言葉, ゲリー・ブラウニング「ロシアにおける信仰の受け継ぎ」『聖徒の道』1998年4月号, 36で引用
12. 2013年3月6日, イリーナ・ボロディナとのインタビューから
13. ウラジーミル・カバノビーの言葉, ジェーソン・スウェンソン "Russia's first stake a powerful symbol of country's growth" *Church News*, 2011年7月9日付, ldschurchnews.com で引用
14. D・トッド・クリストファーソンの言葉, ビデオ "Spirit Attentive to Eastern European Pioneers" Prophets and Apostles Speak Today, lds.org/prophets-and-apostles/unto-all-the-world/spirit-attentive-to-eastern-europe-pioneers
15. メルビン・J・バラード, Conference Report, 1930年4月, 157
16. ボイド・K・バックナー, 1995年11月18日サンクトペテルブルクにおける教会の集会でデニス・B・ノイエンスンバウダーの記録から引用

フォト: イラスト/マリン・ハルラモフ, ネット/サン・キャンセル・クラーク/グワイメント
 写真: トッド・クリストファーソン/ドナルド・エドワーズ/クリストファーソン・スミス/ヒンクレー
 写真: トッド・クリストファーソン/ドナルド・エドワーズ/クリストファーソン・スミス/ヒンクレー

新たな人生を 育む

イーブ・ハート

ラ イアン・エイブラハムは、14歳のときにバプテスマを受けて教会に入りました。南アフリカの山に囲まれた海岸沿いの都市ケープタウンに住んでいたときのことです。「教会に入ったのは大きな祝福でした。おかげで、難しい10代の時期を無事に乗り切ることができました」と彼は



信仰の種

「教会の目的の一つは、時にはそれが猜疑心や疑念という荒地にまかれた種であっても、信仰の種を養い育てることです。信仰とはまだ見えない真実のことを待ち望むことです〔アルマ32:21〕。

ですから、愛する兄弟姉妹、愛する友人の皆さん、自分の信仰について疑いを持つ前に、その疑いを疑ってみよう心からお願いします。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ワークトドルフ管長
「ともに集いましょう」
『リアホナ』2013年11月号, 23

説明します。「でも、教会に入った後、改宗とは単に出席する教会を変えるだけでなく、人生そのものを変えることだと分かりました。」

ライアの歩みは、ほかの改宗者のそれとよく似ています。福音が真実であることを信じていても、新たな文化に移行し、新たに期待されていることを行うという難しい課題に直面したのです。「時には『自分でできるだろうか』と自問したこともあります」とライアは言います。「でも、自分の知っていることを実践するとき、知識と力がもっと与えられます。主はわたしたちを、自分だけでは決してなれないような人に変えてくださるのです。」

この記事は改宗者の証と経験を集めたものです。ここに示す7つのテーマの中に、教会に活発に集い続けて新たな信仰を育むのに必要な励ましを見つけることで、皆さんの信仰が「根付き、生長し、……実を結ぶ」ことができるように願っています(アルマ32:37)。

試練を克服する

回復された福音の光に導かれて生きる時、わたしたちはこの世の生活に伴う困難に耐え、再び神とともに住むことができますようになります。天の御父はわたしたちに「良い忠実な僕よ、よくやった」と言う日を待っておられます(マタイ25:21)。それは御父の約束であり、わたしたちが自分の責任を果たすならば、御父は必ずその約束を果たしてください。

エルソン・カルロス・フェレイラ, 1982年にブラジルでバプテスマを受ける

苦しんでいるのは自分だけだと感じる時はいつも、キリストが自分のためにしてくださったことや、自分のためにどれほど苦しまれたかについて、ちょっと考えてみたらどうでしょう。主はいつもわたしたちとともにおられ、自分が何者で、将来どのような可能性を持っているか気づくように助けてくださいます。主はわたしたち自身より、わたしたちのことをよく御存じなのです。

ミキコ・オバノン, 1993年に日本でバプテスマを受ける

基本的なことに取り組む

わたしは教会で忠実であるために、特別なことをしたわけではありません。80キロメートルの距離を歩いて聖餐会へ行ったことも、火の燃える炉に投げ込まれたこともありません。しかし、教会の集会に出席する、聖文を研究する、祈る、召しを果たすなど、簡単なことを一貫して行うことが証を育む助けになりました(アルマ37:6-7参照)。

アルセニル・デ・ソウザ, 1991年ブラジルでバプテスマを受ける

19歳で教会に入った当初、わたしは福音について胸を躍らせ、毎日聖文を読むのがすばらしい冒険のように感じられました。

でも、教会員になって数年たつと、肉体的にも霊的にも疲れを感じるようになりました。毎週日曜日に重い足を引きずって教会に行き、集会から得るものはほとんどなく、早く家に帰って日曜ならではの昼寝を楽しみたいと思っただけでした。

友達と話すことで、この状況を打破する手がかりが見つかりました。自分の霊的習慣を振り返ってみると、祈りには心がこもっておらず、毎朝の聖文学習は喜びではなく、退屈な義務になっていました。もっと霊的な栄養と運動を日々増し加えなければならぬと気づきました。

毎朝、聖文を読む前に祈ることにしました。聖文研究をするときに導かれ、方向性が見つかるよう具体的に祈ったのです。パートタイムの仕事をしていたので、午前中の15分間の休憩時間には『エンサイン』(Ensign)から数ページを読むようにしました。それが、霊のおやつになりました。夜には、霊性を高める本を読みました。日曜日には『歴代大管長の教え』を読みました。

こうして、毎晩床に就くとき、一日中霊に養いを与えて満たされていたので平安を感じました。毎日霊的な規律を守ると決めたおかげで、もっと前向きになり、証が強められました。

テス・ホッキング, 1976年にアメリカ合衆国カリフォルニア州でバプテスマを受ける

神殿へ行く

初めて神殿について知ったときから、ぜひとも行きたいと思っていました。神殿は死者のためのバプテスマを執行し、家族として結び固めを受け、天の御父とより高い聖約を交わすことのできる場所だと学びました。わたしは神殿へ行けるように、自らを備え、自分自身をふさわしく保ってきました。

ヤシント・ウランドリ, 2012年にインドネシアでバプテスマを受ける

バプテスマを受けた後に、わたしは(すでに教会員だった)ボーイフレンドのJPと結婚する予定でしたが、わたしたちは結婚式の日取りを延期しました。わたしが盛大なお祝いを望んだからです。

2010年1月12日の火曜日、婚約者とわたしは授業に出るために学校へ行きました。わたしがコンピューターの前に座って教授がクラスを始めるのを待っていたとき、建物が揺れ始めました。揺れがあまりにひどかったので、わたしは怖くて外に飛び出すこともできませんでした。

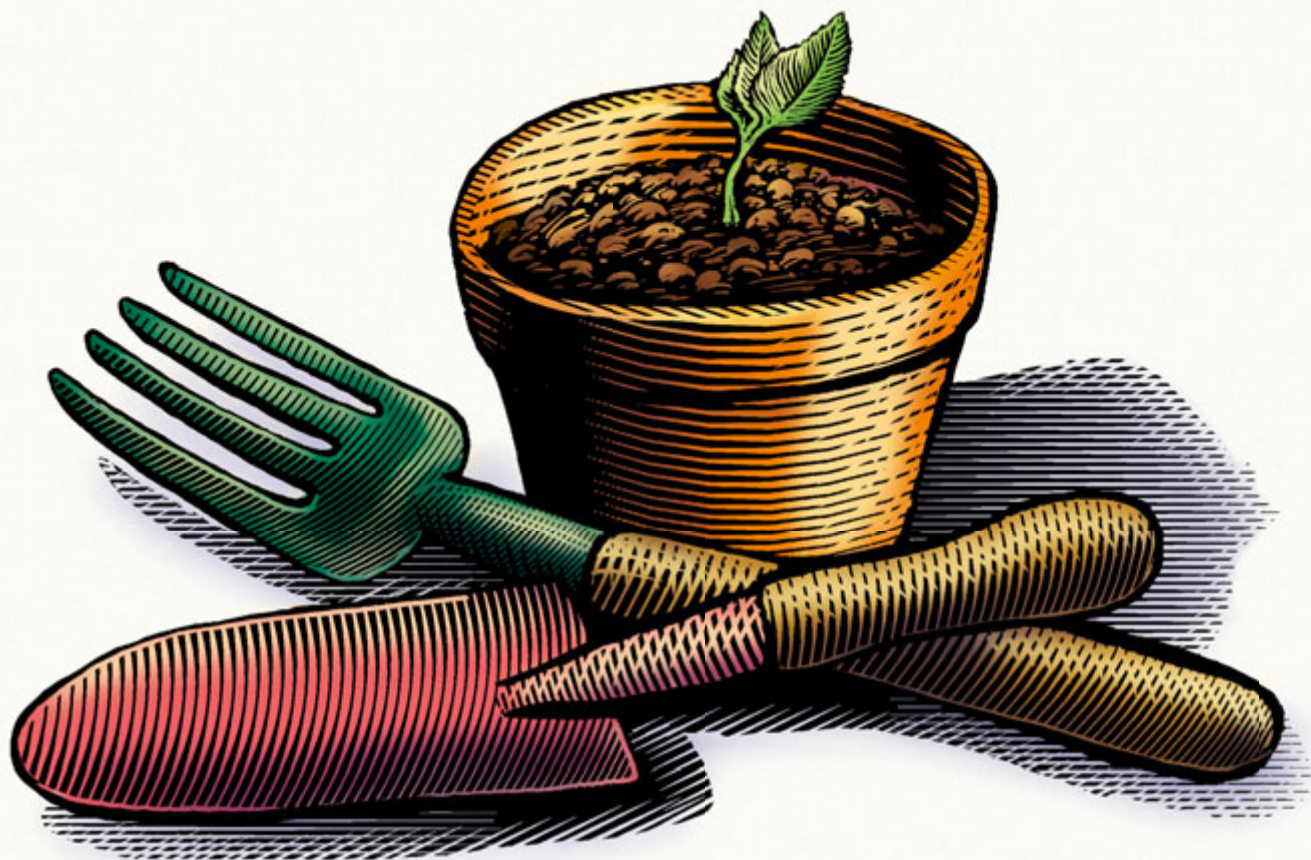
教室の隅に立ったまま目を閉じ、心の中で天の御父に「どうぞJPと神殿で結婚するチャンスを下さい」と祈りました。

少しして揺れがやみ、わたしは周りを見回しました。降って来るほこりのために何も見えませんでした。どうやって部屋の外に出たのか覚えていませんが、気がつくの外にいました。泣きながら、わたしは大声でJPの名前を呼び始めました。

すぐに、JPの妹を見つけました。「彼は大丈夫よ」と彼女は叫びました。「がれきの下敷きになった学生たちを助けようとしているわ。」

自分は逃げ遅れた人々より特別な人間ではありませんが、天の御父がわたしの祈りにこたえてくださったことを知っています。JPとわたしは、2010年4月6日に神殿で結婚しました。それはわたしのバプテスマから1年少し後、そして地震から3か月近く後のことでした。その日感じた平安と喜びを決して忘れることはないでしょう。盛大なパーティーはしませんでした、わたしにとって何よりも素晴らしいものでした。

マリ・マージョリー・ラベ, 2009年にハイチでバプテスマを受ける





証を分かち合う

教会の新会員のわたしは、伝道活動が大好きです。だれでも宣教師になれます。だれかに福音を紹介する度に、その人の人生を変えるだけでなく、自分の証も強められます。人々はあなたの目の輝きを見て、どうしてあなたがそんなにすばらしいのか知りたくなります。伝道活動を行うことは教会を知ってもらう機会を人々に与えるだけでなく、彼らが御霊を感じ、個人として霊的な経験を助けてくれます。

エレナ・ハント、2008年にアメリカ合衆国アリゾナ州でバプテスマを受ける

わたしは伝道活動が大好きです。バプテスマを受けてから3か月後、わたしは夏季休暇を家族と過ごすためにマルティニークへ行きました。そして、毎日弟にモルモン書と福音について話しました。

最初の日曜日に弟を教会に誘いましたが、断られました。2回目の日曜日には、彼はわたしと一緒に教会に行きました。集会が終わっても、彼はほとんど無関心でした。まるで、その3時間の間に何も特別な経験をしなかったかのようにでした。

次の週も福音について彼に話し続けました

が、今度は教会に誘いませんでした。土曜の夜に奇跡が起こりました。わたしが翌日に着る教会用の服にアイロンをかけているとき、弟も同じことをしているのに気づきました。

「何をしているんだい」とわたしは尋ねました。彼は「明日一緒に教会に行くんだよ」と答えました。

「無理強いはいらないよ」とわたしは言いました。でも、彼はこう答えたのです。「ぼくが行きたいんだよ。」

弟は、その後毎週教会に行き続けました。わたしが学校のある南フランスに戻った後、弟から電話があり、バプテスマを受けると話してくれました。わたしは彼に、バプテスマに立ち会いたいけれども、何よりも大事なのは、わたしがマルティニークに戻るときにまだ教会にいることだと言いました。

1年後、わたしは再び帰省しました。聖餐会で弟が、福音が真実であることを力強く証しました。人生の最もすばらしい時とともに過ごしてきた弟が、わたしとともに主の福音を享受できることを思うと、涙がこぼれました(アルマ 26:11-16 参照)。

リュドヴィック・クリストフ・オコリエ、2004年にフランスでバプテスマを受ける

友人や家族に福音を紹介する方法をもっと知りたい方は、以下のお話を読むようお勧めします。M・ラッセル・バラード長老「主に信頼を寄せる」『リアホナ』2013年11月号、43；ニール・L・アンダーセン長老「これは奇跡です」『リアホナ』2013年5月号、77；ダリン・H・オークス長老「福音を分かち合う」『リアホナ』2002年1月、7。www.lds.org/training/wwlt/2013/hastening/a-new-vision?lang=jpn も参照

家族歴史は初めてですか？

家族歴史を探求し、先祖がキリストのもとに来られるように助けることによって、自分がバプテスマのときに感じた喜びを人々にも感じてもらうことができます。familysearch.orgから始めるのがよいでしょう。先祖の誕生日と死亡日を入力することでファミリーツリーを作成することができます。ワードや支部の家族歴史相談員に助けてもらい、戸籍謄本や家庭にある資料から先祖を見つけ、先祖の情報を収集することができます。情報が集まったら、亡くなった親族のために自分で神殿の儀式を受けることもできますし、ほかの人に手伝ってもらうこともできます。

家族歴史活動を行う

わたしは宣教師のレッスンを受けた後、福音が真実かどうか知るために祈りました。大好きな祖父が夢に現れ、真実であることを証してくれました。そのとき、わたしは自分の祖先に対して天与の責任があることを理解し始めたのです。大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長はこのように述べています。「皆さんがバプテスマを受けたとき、先祖は希望をもって皆さんを見ていました。彼らは、自分を見つけて自由にするために子孫の一人が聖約を交わすのを見て喜ぶまで、何世紀もかかったのかもしれない。……彼らの心は皆さんと結ばれています。彼らの望みは皆さんの手にあります。」¹

スティープン・E・ネイバー、1979年にアメリカ合衆国ユタ州でバプテスマを受ける

妻のローラとわたしは、初めての子供である生後4か月の娘シンシア・マリーを二分脊椎の合併症で亡くし、打ちひしがれていました。このような悲劇を経験して悲嘆にくれていた若いわたしたち二人は、いつか娘と再会できる方法を探し求めるようになりました。当時、

わたしたちは教会員ではありませんでした。

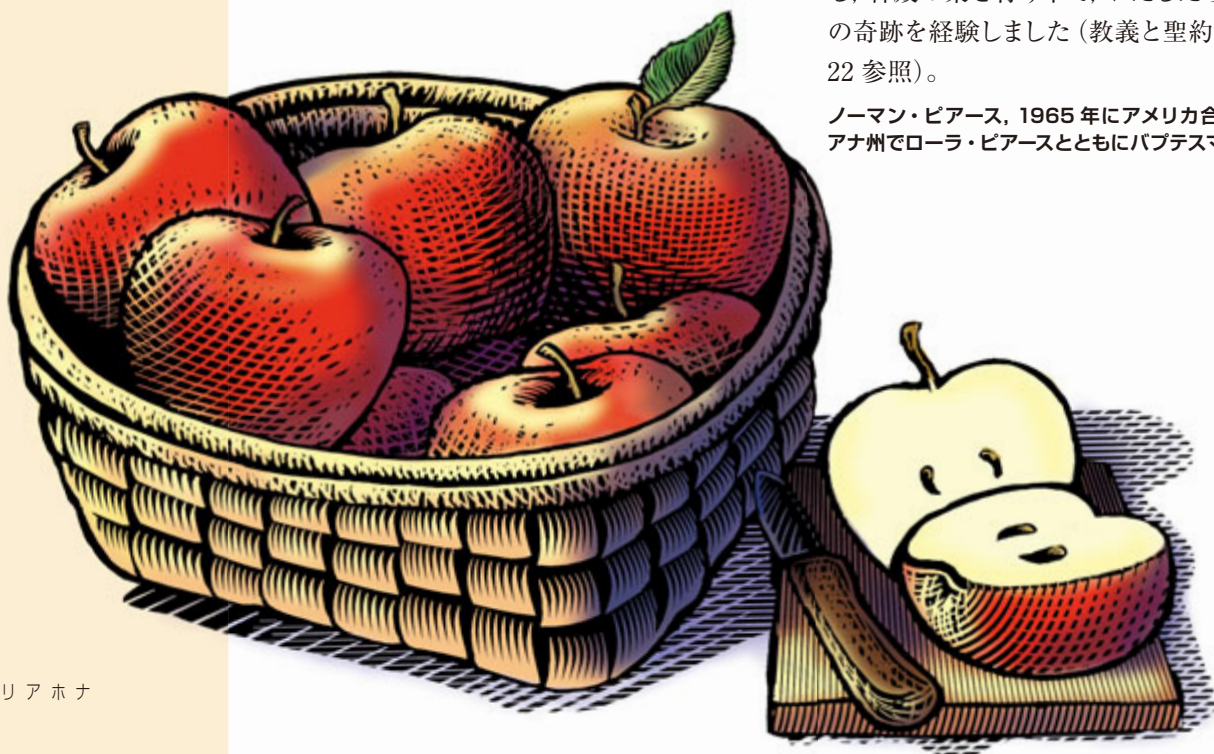
ある朝、ローラは天の御父に心の内を吐露し嘆願しました。「お父様、いつか娘と再会したいと望んでいますが、どうすればよいのか分かりません。どうすればよいか、どうぞ教えてください。」

ちょうどそのとき、ドアをたたく音が聞こえました。流れる涙をそのままに、ローラは玄関のドアを開けに行きました。すると、そこには二人の宣教師が立っていました。やがてローラとわたしはモルモン書が真実であるという証を得、バプテスマを受けました。

ローラは、家族全員に福音を受け入れる機会が必ずあるようにと望んでいました。バプテスマ後の最初の15年間、ローラが神殿のために名前を準備し、それを二人で一緒に神殿に持って行きました。それからしばらくして、ローラの関節炎が悪化したため、わたしが独りで神殿へ名前を持って行くようになりました。

長年関節炎と闘った末、ローラは3年前に亡くなりました。幼い娘との再会を願ったことが、何千人もの愛する先祖に神殿の業をもたらすことになったのです。家族歴史の探求をし、神殿の業を行う中で、わたしたちは数多くの奇跡を経験しました（教義と聖約128：18，22参照）。

ノーマン・ピアース、1965年にアメリカ合衆国ルイジアナ州でローラ・ピアースとともにバプテスマを受ける



教会の集会に参加する

教会で祈ること、レッスンで意見を述べること、また聖餐会で話すことによって、あなた自身も聴く人も祝福を受けます。イエス・キリストの御名によって話すとき、聖霊があなたを通して働いてくださいます。天の御父は聖文や預言者や使徒を通じて語られるだけでなく、だれかの疑問に答えたり、人の弱さを強さに変えたり、人の疑念を軽くしたりするために、あなたを通じて語られるのです。

バプテスマを受けた後の聖餐会で証を述べるようビショップから頼まれたとき、わたしは恐れを感じ、自分にはそんな力はないと思いました。それまで会衆の前で話したことは一度もなかったからです。

「どうしてもしなければなりませんか」と、わたしはビショップに尋ねました。

「ええ」と彼は答えました。

聖餐会で、わたしは、天の御父がどれほどわたしを愛してくださっており、どのようにわたしの祈りにこたえて、わたしが回復された福音を見いだせるように助けてくださったかに

ついて証しました。説教壇の前に立ったとき、わたしは聖霊をととても強く感じました。キリストのまことの教会の会員であることを祝福だと感じました。わたしの心は幸福感と平安で満たされました。天の御父は、話すことに対する恐れをすばらしい経験に変えてくださったのです。

翌月、聖餐会で話す機会が与えられました。再び恐れを感じました。自分より福音についてよく知っている人に教えることなどできるでしょうか。でも、聖なる御霊の助けを得て話せるように祈りました。前と同じように、わたしは御霊の影響を感じ、天の御父がわたしのバプテスマを喜んでおられ、わたしの罪は赦されたという印象を受けました。

様々な経験から、わたしは自分が神の大切な子供であり、御父がわたしを愛しておられると知っています。聖餐会で話すことはわたしにとって、イエス・キリストが地上に御自身の教会を回復されたことを証することで神に仕える貴重な機会になりました。

パメラ・サリ、2012年にインドネシアでバプテスマを受ける

教会で奉仕する

教会の召しは、福音を学ぶ助けになり、教会に行きたくないときでも責任感から教会に行き、人に奉仕する機会になります。

スエ・テルボラ、2008年にアメリカ合衆国ハワイ州でバプテスマを受ける

家庭訪問とホームティーチングは、まことのキリストのような思いやりを感じ、目にする機会を提供します。永遠に人を変える謙遜さと愛を知る経験を与えてくれます。主のぶどう園のあらゆる場所に思いやりに満ちた行いを広めるために、天の御父の子供であるわたしたちの奉仕が必要とされているのです。²

チェリル・アレン、1980年にアメリカ合衆国ミシガン州でバプテスマを受ける

バプテスマを受けてすぐ、わたしは支部会長から若い男性会長に召されました。青少年と一緒にいて、彼らが福音につい

て学ぶ助けができるのはすばらしい経験でした。わたしは教えると同時に学んでいたのです。それ以来、幾つもの召しを受けてきました。どの責任でも、わたしは新しいチャレンジを喜び、楽しむことができました。トーマス・S・モンソン大管長はこう教えています。「主から召される人は、主によって適格な者とされることを忘れないでください。」³ わたしは信頼し、できると信じて謙遜に取り組みなければなりませんでした。そのおかげで、会員になって6か月もたたないうちに、教会のプログラムをよく知ることができるようになりました。

ヘルマノ・ロベス、2004年にブラジルでバプテスマを受ける ■

注

1. ヘンリー・B・アイリング、「結ばれた心」『リアホナ』2005年5月号、80
2. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』103-124；トーマス・S・モンソン「ホームティーチング——神聖な召し」『聖徒の道』1998年1月号、53参照
3. トーマス・S・モンソン「召しの義務」『聖徒の道』1996年7月号、52





神権定員会

における霊的な力を築く

主はわたしたちに、「互いに和合し、愛し合って結ばれた心」をもって教える助けとして、神権定員会を授けてくださいました。

かつて、七十人のポール・V・ジョンソン長老は、妻を伴い、チリで地域会長会の一員として奉仕していました。ある金曜日に、彼はステーキ会長会を再組織するため、サンティアゴの自宅から900マイル（約1,450キロ）の旅をする必要がありました。

金曜日の夜に目的地に着いた後、彼は、妻が入院したという電話を受けました。妻のジョンソン姉妹と電話で話したところ、階段から落ちてひざの皿を割ったとのことでした。彼女は十分な手当てを受けており、月曜日か火曜日までは手術を受けないことをジョンソン長老に伝え、長老に、ステーキを再組織し、ステーキ大会を管理する割り当ては最後まで果たすように勧めました。

その言葉によって心の落ち着きを取り戻したジョンソン長老は、状況を報告するためにソルトレーク・シティーの彼の定員会指導者にすぐに電子メールを送りました。その後、引き続き自分の割り当てを果たす計画を立てました。彼の対応には学ぶべき教訓があります。まず、自分の定員会指導者に状況を報告しました。そして、**その後**に、自分の割り当てを引き続き果たしたのです。

七十人定員会は、各会員がほかの人を見守るという具体的な責任を負うように組織されています。それには、定員会の名誉会員に優しく心配りをすることも含まれます。定員会会員は、全世界に対する割り当てを受けているので、通常は個人的な訪問ができません。しかし、電話や電子メール、携帯電話のメール、その他の電子的手段によって連絡を取り合います。各会員は、個人や家族の状況に何か重大な変化があった場合、直ちに定員会指導者に助言を求めます。ジョンソン長老の行ったことがまさにそれです。

ジョンソン長老の場合、彼の神権指導者は当時七十人会長会の一員を務めていたクラウドディオ・R・M・コスタ長老でした。翌朝、ジョンソン長老が地元の指導者たちを面接していたときに、コスタ長老からジョンソン長老に電話がかかってきました。コスタ長老は、ジョンソン長老は家に帰るべきだと感じましたが、それでも、「妻は大丈夫だと思うので、ステーキの再組織を終えることができる」というジョンソン長老の説明に注意深く耳を傾けました。コスタ長老は、「幾つかのことを確認したいので、その間は今のまま続けるように」と、ジョンソン長老に告げました。



アロン神権定員会やメルキゼデク神権定員会の全会員が参加するとき、兄弟たちの力ときずなは強められます。

る心遣いを感じます。その心遣いの背後には多くの信仰と活力があります。自分が定員会の一員であると心から感じます。もしも長老定員会の会長の職に召されたら、わたしは、この定員会での経験があるので、もっと良い会長になれると思います。」

わたしも同感です。わたしが兄弟たちの間で目にする一致と愛は、すべての神権定員会にとって模範となります。その模範に倣えば、教会全体で定員会と会員は大きな祝福を受けるでしょう。

定員会の強さの源

アロン神権定員会とメルキゼデク神権定員会には大きな力があります。あるいは、大きな力が秘められています。この力は、神の名によって行動するために神から与えられた権能により引き出され、個々の会員の証と強さと、心からの献身を具現化します。

その結果はすばらしいものです。定員会の会員とその家族は、霊的により強く、個人的により確固とした、イエス・キリストのより有能な弟子になります。主の教会外に存在するいかなるものとも異なり、これが相乗効果を発揮して注目すべき兄弟同士のきずなを形作っているのを、わたしは見てきました。

大管長会第一顧問ヘンリー・B・アイリング管長がかつて述べた、洞察力のある言葉を思い出します。彼はこう述べました。「長年かけて学んだことは、定員会の強さはその人数から得られるものではないということです。会員の年齢や成熟度から自動的に得られるものでもありません。むしろ定員会の強さは、会員が義においてどれだけ完全に一致しているかということに大いにかかわっているのです。」¹

定員会会員が義において一致するとき、天の力は、何の妨げも受けることなく彼らの生活に流れ込みます。そして、彼らが互いに、また家族に、教会に、さらには住んでいる地域社会に奉仕する中で、その天の力は大きくなるものとなります。

76年前に、当時十二使徒定員会会員であったスティーブン・L・リチャーズ長老は、定員会を、「第1に学びの場、第2に仲間同士の集い、第3に奉仕の組織」と定義づけました。² その古典的な定義は七十人定員会によって力強く例証されています。

およそ2時間後、コスタ長老はジョンソン長老に電話し、この状況について定員会指導者たちと話し合い、皆は彼がジョンソン姉妹と一緒にいる必要があると感じたと告げました。そして、ジョンソン長老は、自分のための航空券がすでに空港に用意されていること、またステーキ会長の再組織を終えるためにカーロス・H・アマードー長老が向かっていることを知らされました。

病院に着いたとき、ジョンソン長老は、妻がひどい痛みを苦しんでいることを知りました。苦痛に加えて、彼女は周りの医療スタッフの言語を話せないでいました。夫の助けを必要としていたのです。定員会指導者たちの靈感と兄弟同士のきずなによる配慮によって、ジョンソン長老は彼女の傍らに導かれたのでした。

ジョンソン長老はこう言っています。「この定員会におけ

学びの場としての定員会

ソルトレーク・シティー地域に住んでいる七十人の会員は、毎週教会本部で行われる定員会集會に集まります。そこでは、教義と聖約第88章に従って教会の教義と業務、方針について順番に教え合います。「あなたがた自身の中から一人の教師を任命しなさい。そして、全員が同時に語ることなく、一時に一人を語らせて、すべての者が彼の言うことに耳を傾けるようにしなさい。それは、すべての者が語って、すべての者が互いに教化し合うように……するためである。」(教義と聖約 88:122)

その集會は、靈感が与えられ、兄弟同士のきずなが強められる貴重な経験の場です。友愛の精神、ならびに相互支援と愛の気持ちが集會に満ちています。七十人のすべての会員が出席できるわけではないため、集會は録画され、教会本部から遠く離れて奉仕している会員のために、インターネットを通じてその内容が伝えられます。

わたしの定員会の兄弟であるドン・R・クラーク長老は、この集會について「教義と応用の靈的な祝宴」と述べています。彼は合衆国外の地域会長会で奉仕していたときのことを、こう語っています。「わたしたちは地域会長会集會で毎週〔ビデオを〕見るのを楽しみにしていました。テーマがまさにわたしたちが採り上げる必要のあることだったという時が何度もありました。」

このように録画された定員会集會に、また七十人とその家族が教会の指導者や定員会の兄弟たちから感じる心遣いに感謝し、ケビン・R・ダンカン長老はこう言っています。「わたしたちはまったく孤独を感じません。世界のどこで奉仕していても、決して独りだとは感じないのです。」

アロン神権定員会やメルキゼデク神権定員会の全会員が参加するとき、定員会会員が教え合い、様々な洞察を分かち合うことを通じて、

兄弟たちの力ときずなは強められます。多くの定員会に複数の教師がいますが、これは良い方法です。

教会のすべての定員会指導者は七十人の模範に従うことができます。定員会集會に出席できない人々のために、彼らとのつながりを保つ方法を見つけてください。家に引きこもっている、あるいは介護施設に入っている大祭司に電話をかけることがどれほどの影響を及ぼすか、少し想像してみてください。定員会集會で話し合われたことを分かち合う定員会の兄弟からの電話に感謝しないでしょうか。テクノロジーはその分かち合いを容易にします。

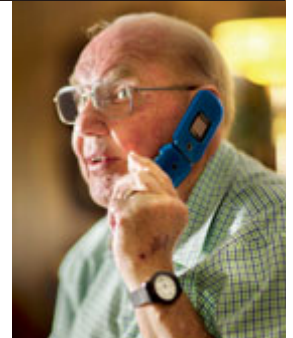
仲間同士の集いとしての定員会

定員会集會は、ほんとうに重要な事柄に焦点を当てる議事予定案を準備することによっても改善できます。思いやりを示し、兄弟同士のきずなを培うために費やすべき多くの時間が、しばしば定員会の業務や発表に取られすぎています。効果的な定員会の議事予定案では、リチャーズ長老がその定義の中で述べた3点、すなわち、クラスで教え学ぶこと、兄弟同士のきずな、奉仕に十分焦点を当てることがあります。

わたしたちの定員会では、電子メールで議事録と発表事項を分かち合います。会長会集會での議事予定案の最初の項目は、定員会会員の福祉です。だれが助けを必要としているか尋ねます。現在の定員会会員と解任された定員会会員の名前を挙げて祈り、また彼らの子供や孫たちのために祈ります。助けるために何ができるかについて話し合うために、議事予定案を調整することもよくあります。



定員会集會に出席できない人々のために、彼らとのつながりを保つ方法を見つけてください。





賢明な定員会指導者は、
教義に、兄弟同士のきずなを培うことに、
また定員会がほかの人々に
手を差し伸べることのできる方法に、
もっと多くの時間を割きます。

定員会の業務と奉仕の割り当てに注意を払う必要はあります。しかし、賢明な定員会指導者は、スケジュール調整や発表にあまり時間を使わず（それを電子メールで送るか、配付物にし）、教義に、兄弟同士のきずなを培うことに、また定員会がほかの人々に手を差し伸べることのできる方法に、もっと多くの時間を割きます。

仲間同士の集いとして、神権定員会に匹敵するものは世の中に一つもありません。何年も前に、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は次のように説明しています。

「いにしへの時代では、指名を受けて特別な集団に加えられた人には、その人が果たす務めについて、必ずラテン語で書かれた記録が残されました。そこには、所属する組織の責任の概要と会員たるべき人の定義が明確にされ、必ず“*quorum vos unum*”，すなわち『わたしたちは、あなたがこの選ばれた集団に加えられることを望む』という意味の言葉が刻まれていました。」³

神の御霊以上に人の心をつなぐものはありません。御霊の影響の下で、定員会会員の義と相互に関心を示し合う精神に促されながら、定員会は、定員会会員とその家族、ならびに彼らの奉仕先の人々に対する大きな霊的な力の源になることができます。

それに加えて、親睦も重要です。強い定員会は時折社交活動のために集まり、定員会会員とその家族に、くつろいで楽しく交流する機会を提供します。親睦は兄弟同士のきずなを培い、それを保つ重要な要素です。

奉仕の組織としての定員会

多くの点で、神権定員会の兄弟同士のきず

なは、定員会が提供する奉仕に力を増し加えます。兄弟同士のきずなと愛の精神をもって一つとなって働く神権定員会は、奇跡を起こすことができます。

わたしは再びポール・ジョンソン長老とジル・ジョンソン姉妹のことを考えています。夫妻は多くの深刻な家族の問題を経験してきました。夫妻には癌で苦しんでいる一人の娘と一人の幼い孫がいます。この二人の状況に対して、ジョンソン長老の定員会会員たちの祈りと断食が奇跡的な力を発揮しました。

教会と、教会ユニットのある地域社会は、神権定員会の忠実な奉仕によって何度も祝福にあずかっています。定員会会員が義にかなったキリストのような愛をもって彼らの力を結集するとき、その奉仕は力強いものとなります。

わたしはしばしば、犠牲を代償として強さと愛が得られるのを目にしてきました。その犠牲の大部分は、七十人の妻たちが払っているものです。何年も前のこと、クラウディオ・コスタ長老とマルガレーズ・コスタ姉妹がコロンビアのボゴタで奉仕していたときに、わたしは二人のもとを訪れました。ある夜の夕食後、コスタ夫妻は何人かの孫とオンラインで映像を見ながら話をしました。コスタ長老がわたしのために通訳をしてくれて、わたしはその孫たちがコスタ姉妹を「コンピューターおばあちゃん」と呼んでいることを知りました。会話の最後に、2歳と4歳の二人の孫がコスタ姉妹を抱き締めようとして、コンピューターのモニターを抱きかかえました。その後で、コスタ姉妹は、その孫たちは自分とコスタ長老がコンピューターの中に住んでいると思っているのだとわたしに教えてくれました。

大切な行事のときに子供たちや孫たちのそばにいないことは、母親や祖母にとっては特につらいことです。しかし、主を愛し、夫の召しに深くかかわっていると感じているので、

彼女たちは奉仕をします。

ダンカン長老はこう述べています。「わたしたちの妻は意義深い方法で貢献しています。重い荷を負っている夫を支えるだけでなく、世界中の会員や指導者と靈感に満ちた方法で交流を図っています。妻たちは喜んで奉獻するという真の模範です。」

七十人とその妻たちの中に見られるその種の一致には大きな力があります。わたしは日本での割り当てを受け、当時アジア北地域会長会で奉仕していた崔崙煥長老と奥さんの具本京姉妹とともに幾つかの都市を訪れたことを思い出します。わたしは彼らの母国である韓国に一つの問題があることを知っており、その話を持ち出しました。わたしが少し彼女を促したところ、彼女は問題の重大性をわたしに告げ、その後、幾つかの提案を述べました。それは解決策を見つけるのに非常に助けとなりました。

トーマス・S・モンソン大管長は次のことを強調しています。「兄弟の皆さん、この世は皆さんの助けを必要としています。足もとを支え、手をしっかり握り、精神を励まし、心に靈感を与え、人を救わなければなりません。永遠の祝福が待っています。見物人になるのではなく、神権奉仕というステージに立つ特権が与えられるのです。」⁴

実際、真の兄弟同士のきずなは敬神の一つの尺度です。

その理想に近づけば近づくほど、わたしたちは神に近づきます。御父と御子と聖霊は一つであると聖文で述べられているように、御三方は愛、霊的な力、知識において一致しておられます（ヨハネ 17：21 - 23；2 ニーフアイ 31：21；3 ニーフアイ 11：27, 36 参照）。主はわたしたちに、モーサヤ書の中で優しく述べられているような一致によって、「互いに和合し、愛し合って結ばれた心」（モーサヤ 18：21）をもって教える助けとして、神権定員会を授けてくださいました。

定員会の指導者と会員が皆、それぞれの兄弟に手を差し伸べ、また兄弟とその家族の必要について知るようにと、わたしは祈っています。毎月特定の日曜日を決めて定員会集会でよく祈って話し合いを行うことは、この大切な務めを果たすのに助けとなるでしょう。必要な事柄を知ることによって、定員会会員は、人生に祝福をもたらし、より豊かに天の力にあずかる方法を見いだすことができ、その結果、神権定員会における霊的な力が増すことでしょう。■

定員会を強めることに関するその他のアイデアについては、ヘンリー・B・アイリング「人々の傷を癒す」『リアホナ』2013年11月号、58を参照してください。

注

1. ヘンリー・B・アイリング「神権定員会」『リアホナ』2006年11月号、43
2. スティーブン・L・リチャーズ, Conference Report, 1938年10月, 118
3. ボイド・K・バッカー, A Royal Priesthood (Melchizedek Priesthood study guide, 1975 - 1976), 131
4. トーマス・S・モンソン「救助に向かう」『リアホナ』2001年7月号、57

七十人——奉仕の伝統

七十人の神権の召しは、イエス・キリストの証人となり、主の預言者を補佐することです。モーセが指導者としての務めをひどく重荷に感じたとき、主は彼にこう告げられました。「イスラエルの



長老たちのうち……七十人を……集め……なさい。……わたしはあなたの上にある霊を、彼らにも分け与えるであろう。彼らはあなたと共に、民の重荷を負〔う〕であろう。」(民数 11：16 - 17)

後に、救い主は、この死すべき世で教導の業に携わっておられたとき、別に七十人を選び、二人ずつ先にお遣わしになりました(ルカ

10：1 参照)。(訳注——口語訳聖書では「七十二人」であるが、欽定訳聖書では, seventy〔七十人〕と記されている)。

今日、主は再び七十人を召して、「十二使徒会……の指示の下に主の名において

行動し、……教会を築き上げ、すべての国々において……諸事をすべて整える」ように命じておられます(教義と聖約 107：34)。七十人は7人の会長によって管理されます。主は、教会で必要とされる数の七十人を召すことができると述べておられます(教義と聖約 107：93 - 96 参照)。

雨の中の1分半

子供のころ、わたしは周囲に何の心配もかけずに成長しました。教会にはそれまでずっと熱心に通っていました。神権定員会やセミナリークラスの会長も務めました。ユースカンファレンス、神殿訪問、スカウト行事、ミューチャルの夕べにもすべて参加しました。また、福音に対する証^{あかし}もありました。しかし、祭司定員会の会員になったころから、人知れず、悩んでいました。でも結局は、周囲に何の心配もかけることのない少年でした。

祭司定員会の会員となって初めの数か月、わたしはいつもどおりのことをしました。教会に行き、ミューチャルやスカウト活動に参加しました。しかし、心の中では闘っていました。自分がグループの一員であるという気持ち、あるいは、この

組織でほかの若い男性から必要とされているという気持ちがしなかったのです。わたしは皆とのつながりを切に求めています。

時間がたつにつれて、自分はこの定員会の一員でいたいのかどうか疑問を抱くようになりました。しかしわたしは教会に熱心に通い続けました。ひそかに苦しみ、何かがかき分けとなって、あるいはだれかの助けを得て、自分は歓迎されていると感じられたらいいのに、と思っていました。

当時、わたしは父とともに、自分の最初の車、美しい1967年型フォード・マスタングの修理を終えたばかりでした。若い男性会長のステイ兄弟は、時々、この車についてわたしに尋ねました。そういう質問をするのは、持ち主である若い男性に

ではなく、クラシックカーに興味があるからだろう、とわたしは思っていました。

しかし、すべてが、ある雨の降る夜、ミューチャルの後で一変しました。豪雨のため、ステイ兄弟はわたしたち全員を教会から家まで送ってくれました。最後に降ろされたのがわたしでした。ステイ兄弟は、ガレージ前に止めてあったわたしの青いマスタングを目にすると、いつものようにその車について尋ねてきました。わたしは、自分が何時間もかけて修理したエンジンを見てくれませんか、と尋ねました。

ステイ兄弟は車の知識がほとんどありませんでした。家には奥さんと幼い息子が彼の帰りを待っていました。それなのに、暗くて雨の降る中、立ったまま、ほとんど見えない車のエンジンを見てくれました。その瞬間、わたしは気づいたのです。彼はクラシックカーを見るためにそうしているのではなく、わたしを心にかけていたから、そうしていたのです。

雨の中に立っていたその1分半がかき分けとなって、わたしは自分が必要としていたものを見いだしました。自分は歓迎されていることが、やっと分かったのです。わたしのひそかな祈りは、ずっと前からこたえられていたのです。

そのとき以来、わたしは神殿に参入し、伝道に出て、大学を卒業し、自分が交わした聖約を守ろうと努めてきました。そのときのことをステイ兄弟は覚えていないかもしれませんが、わたしは決して忘れないでしょう。

わたしたちはだれもが問題に直面します。しかし、毎日、あと1分半を割くことで、神の子供の一人に愛を示すことができます。たったそれだけでだれかの状況が一変するかもしれないのです。何の心配もないように見える人であってもです。■

ジェイソン・ポーセン (アメリカ合衆国、ユタ州)

ステイ兄弟は車の知識がほとんどありませんでした。それなのに、暗くて雨の降る中、立ったまま、ほとんど見えない車のエンジンを見てくれました。



暗闇でわたしたちを照らす光

わたしたち家族は悲惨な火事を
経験したばかりで、寝室が3つの
トレーラーハウスを前庭に設置して、
8人全員で仮住まいをしていました。
わたしたち家族は、試練と不和に直面
しました。

当時、夫は教会に熱心ではありません
でした。10代の息子二人はわたしたち
を悲しませるような選択ばかりしていま
した。同じころ、わたしはワードの若い
女性会長として奉仕していました。若
い女性の中には、深刻な誘惑と闘って
いる人もいました。彼女たちの親の何
人かも様々な困難に直面していて、その
結果、この大事なときに彼らの娘たちを
助けられないでいました。

わたしは、そうした若い女性が、霊的
な地雷を踏まずに通り返けるのに、わた
しの助けを必要としていることを知って
いました。6人の息子がわたしを必要と
していることも知っていました。善良な
夫がわたしの力を頼りにしていることも
知っていました。しかし、わたしの周り

には暗闇しかないように思えました。ま
た、むなしさや弱さを感じるとともに、
愛する人々を安全なところに導くだけ
の力が自分にはないと感じていました。

ある夜遅く、静かな仮の住まいで
幼い息子をあやしながら、わたしは、強
くなるためにわたしを必要としている
人々のことを考えました。わたしはそう
いった人々の周りに広がる暗闇を感じ
ました。苦悩の中でわたしは、こんな
無力な自分に、彼らを助けるための道
を示してくださいよう天の御父に全身全
霊で祈りました。御父はすぐに答えを
与え、道を示してくださいました。

わたしは自分がワードの大きな文化
ホールにいるところを目に浮かべま
した。そこには窓がありませんでした。
夜遅くで、ほんの少しの光もありません
でした。そこでわたしは小さな誕生日
用のろうそくに火をつけました。それは
ほんのかすかな光でした。しかし、
そのきわめて小さな光には、暗闇を追い
払うのに十分な力がありました。

それがわたしに与えられた答えで
した。世の中で自分たちを取り巻く暗
闇の深さはまったく関係ないのです。
光は永遠であり、暗闇よりもはるかに
力があるのです(2コリント4:6;モー
サヤ16:9;教義と聖約14:9参照)。
常に聖なる御霊を伴侶とするふさわし
さを保ち続けるならば、わたしたちの霊
は、どんなに深い暗闇でも完全に追い
払う光を発することができ、周囲の人々
はわたしたちの内にあるその光に導か
れることでしょう。

わたしはそのことを理解しさえすれば
よかったです。このシンプルな考え方
は、それ以来、25年にわたってわたし
を導いてくれました。わたしは、主の
助けと導きがあれば、この暗闇の世に
あって、主がわたしたちに望んでおられ
るすべてのことを成し遂げ、主が望んで
おられるような人になれるという知識を
与えられたのです。■

スーザン・ワイマン(アメリカ合衆国、ジョージア州)



ある夜遅く、
静かな仮の住まいで
幼い息子をあやしながら、
わたしは、
強くなるために
わたしを必要としている
人々のことを
考えました。

天の御父からわたしへのメッセージ

新婚で、教会に入りたてのころ、わたしは夫とともにイギリスへ引っ越しました。英語は学校で幾らか学んでいましたが、わたしの英語は、日本語的な発音のためになかなか理解してもらえず、イギリス的なアクセントも、わたしにとっては難解でした。

夫とわたしは教会員でしたが、結婚したころは、二人とも十分に改心していませんでした。いつも聖餐会せいさんが終わると帰宅し、ほかの集会には出席しませんでした。教会のどんな召しも受けたくありませんでした。

ある日のこと、扶助協会の指導者から電話があり、もっと教会になじめるよう、翌週、平日の夜に行われる扶助協会集会で自分のことについて何か紹介してもらえないかと尋ねられました。わたしは参加することに同意しましたが、英語力不足のために、何かを持って行って展示するよう望まれていることが

理解できませんでした。

集会に着いたとき、何をしよう期待されていたのか、すぐに分かりました。3つのテーブルが設置されていて、テーブルクロスが敷かれ花が飾ってありました。頭上の貼り紙にはこう書かれていました。「姉妹たちと親睦を深めましょう。」テーブルの一つには「タケット姉妹」と書かれたシールが貼ってありました。それなのに、わたしにはテーブルに置くものが何もありません。わたしは目に浮かぶ涙を隠そうと努めました。

それだけでなく聖餐会せいさんに出席する度につらいと思っていました。話の内容がよく分からなかったからです。よくこんなふうふうに思いました。「わたしはどうしてここにいるのかしら？」そんなわけで、その扶助協会集会の場に到着し、自分の間違いに気づいたとき、わたしはもう教会に来るべきではないと感じました。できることなら消えてしまいた

かったのですが、あの扶助協会の指導者には、準備ができていないと言わなければなりません。

「ごめんなさい。分かりませんでした。テーブルに置くものが何もありません。」わたしはそう告げました。

彼女はこれ以上ないほど優しい表情でわたしを見詰め、こう言いました。「そんなことはどうでもいいのよ。あなたがここに来てくれただけでうれしいわ。」それから彼女はわたしを抱き締めてくれました。

わたしはほっとしました。そして、御霊みたまがこう告げました。「この女性が言ったことは、天の御父からあなたへのメッセージです。御父はあなたを愛し、あなたがここに来ただけで喜んでおられます。」英語はよく理解できませんでした。御霊の力によって彼女のメッセージを理解できたのです。

そのような気持ちになったおかげで、先ほどまでの思いは一変しました。わたしは自分にこう言い聞かせました。「天の御父がわたしをこれほど愛し、教会に来るよう望んでおられるのなら、たとえどんなに大変でも教会に来よう。」

そのとき以来、わたしは夫とともに、教会のすべての集会に出席しました。また、英語を勉強しようと決心しました。少しずつ、英語がもっと理解できるようになり、話せるようになりました。

わたしの人生で最も重要な時期に、天の御父のメッセージを伝えてくれた姉妹に感謝しています。15年たった今、わたしは日本に住み、英語を話す地方部の地方部扶助協会会長会で奉仕しています。また、通訳者になるための訓練を教会から受けています。■

輝美・タケットてるみ〔ジル・キャンベル共著〕(日本)

扶助協会の指導者がわたしを抱き締めてくれたとき、わたしはほっとしました。



自らの信仰を擁護する

大学に入った最初の年のうちに、学生としての生活はそれ以前と違って、この世的な影響から守られていないという事実気づきました。また、自分の価値観が受け入れられないということにも気づきました。

自分の肉体、あるいは天の御父との関係に害を及ぼすことが分かっている活動への参加を断る度に、わたしは自分が周囲から浮き上がった存在であることを思い知らされました。しかし、教会員であることを批判されるのが恐かったので、その話題を避けていました。

ある日、午後の授業で、教授がある話し合いをリードしていました。「絶えざる差別の中であって青少年はどのように成長するか」というのがそのテーマでした。わたしの後ろに座っていた女性が、そのようなテーマから連想するのはモルモンだと答えました。わたしは身が縮む思いがしました。教会のことがクラスで話題になると、たいがい不適切な意見が出るからです。

わたしは軽蔑的な言葉が発せられると覚悟しました。そのとき、教師がクラスに末日聖徒はいるかと尋ねました。わたしはその質問にぼうぜんとしながら、教室を見回しました。ほかの学生も皆、同様の動作をしました。よく考えるより先に、わたしの手は机の上の居心地の良い位置を離れて挙がっていました。部屋のあちこちから一斉にささやき声が聞こえました。

「一人ですか？」教師はそう言いました。その言葉がわたしの耳の中で鳴り響きました。長い沈黙の後、モルモンはクリスチャンかという議論に答えてほしいとされました。よく尋ねられる質問だったので、答える準備はできていました。

『わたしたちはキリストのことを話し、

キリストのことを喜び、[また]キリストのことを説教し[ます]。』(2ニーファイ 25:26) わたしは自信をもって答えました。「わたしたちは紛れもなくクリスチャンです。」

ささやき声はやみましたが、皆の視線を感じました。わたしは孤独を感じるだろうと思いましたが、そのようなことはなく、まるで救い主が隣に座り、わたしの手にその手を置いておられるように感じました。ほかのことはどうでもよいと思いました。というのも、心が喜びに満たされ、その喜びのゆえに、主についての証が^{あかし}強められたからです。こうして、わたしは自らの信仰を擁護しました。

末日聖徒がクリスチャンである理由について、さらに詳しく、クラスの生徒に話しました。それからモンソン大管長がバスに乗っていて福音を伝えたときの

よく考えるより先に、わたしの手は机の上の居心地の良い位置を

離れて挙がっていました。

部屋のあちこちから一斉に

ささやき声が聞こえました。

ことを思い出しました。その経験から、モンソン大管長は会員にこう奨励しました。「勇敢であり、信じることを擁護する備えができますように。」¹ その言葉を思い出すと、わたしは自分が最も恐れていたことを実行したのだと実感しました。

自分が口を開いたことで、教会に対するだれかの考え方が変わったかどうかは分かりません。しかし、どこにしようと、恐れることなく堂々と福音を分かち合えばよいのです。ほかのだれにも祝福をもたらせなくても、自らの証と天の御父との関係を強くすることはできるからです。■

カーリナ・ピーターソン
(アメリカ合衆国、アイダホ州)

注

1. トーマス・S・モンソン大管長「一人でも気高く立ち」『リアホナ』2011年11月号、67



皆さんは伴侶との
効果的なコミュニケーションが
できているでしょうか。
3種類の会話について理解することで、
夫婦の関係を強める
一助とすることができます。

話し, 耳を傾け, **愛する**



マーク・オグレットリー

結 婚と家族関係のカウンセラーとして、わたしには、いろいろな夫婦と話をすることがあります。夫婦が互いの関係を修復したり、強めたりするお手伝いをするためです。あるとき、一人の女性と会って話をすることがあります。その女性は、ほんの数か月前に結婚したばかりでしたが、夫との間にコミュニケーション上の大きな問題があると言いました。彼女の夫と話してみても、あることに気づきました。実は、夫はだれとでも上手にコミュニケーションが取れたのですが、妻とだけは例外だったのです。

長年の経験から学んだことですが、健全なコミュニケーションは心と思いの両面に影響を及ぼします。より効果的に、つまりより簡潔明瞭にコミュニケーションができる人は、より深い感情面の結びつきを築き、争いを解決し、夫婦関係におけるきずなを強めることができます。わたしたちはそれぞれ、どうすれば夫婦関係におけるコミュニケーションの質を改善できるでしょうか。以下に、その例を幾つか紹介します。

有意義な会話をする

教会員であり、結婚と育児の専門家であるダグラス・E・プリンリー博士は、人間関係におけるコミュニケーションを、表面的、個人的、受容的という3つの段階に分けて書いています。夫婦間に深いきずなが育まれるためには、この3種類のコミュニケーション間のバランスが取れている必要があります。¹

表面的

表面的な段階に分類されるコミュニケーションとは、有益な情報が得られ、対立を生み出すことがなく、あまり危険を伴わない無難な段階のコミュニケーションです。どの夫婦も、この段階にある程度の時間を費やす中で、スケジュールを調整したり、天気のことを話し合ったり、ガソリンの値段について意見を述べたりします。この種のコミュニケーションは必要ですが、もし、ほとんどのコミュニケーションがこの段階で止まっているとしたら、互いの関係を深めたり、一体感を持ったりすることはできません。

表面的なコミュニケーションは、深く有意義な会話に取って代わる必要があります。夫婦が話し合うべき、より深い問題を避けて通っていると、争いを解決したり、互いの関係を深めたりすることはできません。重要でないことではなくて、重要なことについて話し合うとき、夫婦のきずなは深まります。わたしはカウンセリング中に、コミュニケーションを表面的な段階に維持することで夫婦関係を守ろうとする夫婦をたくさん見てきました。そのような夫婦は、「もっと重要な〔こと〕」(マタイ 23:23)を避けることで、実際のところは、結婚生活を台なしにしているのです。

個人的

個人的なコミュニケーションでは、自分の興味、夢、情熱、信念、そして目標を伝えます。また、率直に、恐れや欠点を打ち明けます。こうしたすべての事柄について、キリストが教えられた方法で分かち合うことにより、夫

婦は互いに理解し合い、その関係を強めることができます。十二使徒定員会会員のマービン・J・アシュトン長老(1915 - 1994年)は次のように教えました。「コミュニケーションとは、単なる言葉のやり取りではありません。それは情緒と感情と気遣いとを賢明に伝えること、すなわち自分のすべてを伝えることなのです。」²

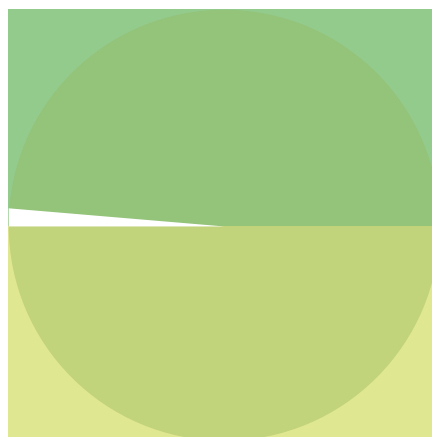
この段階のコミュニケーションは、デートをしているときに、恐らく行っただけのことがあるでしょう。男性と女性が互いに恋愛感情を抱くようになるのは、この段階です。大切なことを共有し続ける中で、あなたとあなたの伴侶は互いに感謝し、求め、尊敬し、必要とし合うようになります。伴侶が話すことを受容する、すなわち伴侶の言うことが自分にとっても大切であるということを示せるようになれば、次の段階のコミュニケーションに進むことができます。

受容的

夫と妻には、互いを養い、慰め合う厳粛な責任があります。³ 結婚生活の専門家であるサンドラ・ブレイクスリーとジュディス・S・ワラースタインは次のように記しています。「愛情のこもった心遣いや、元気を取り戻させる慰めが得られない結婚生活は、心の栄養不良により破綻する可能性がある。」⁴ 受容するコミュニケーションは、人を教化し、癒し、育み、称賛します。この段階のコミュニケーションになると、わたしたちは自分が大切に思っている人々に対して称賛の言葉を伝えます。受容が十分だと、ほとんどの関係は深まるものです。

いろいろな夫婦から相談を受けるときに、わたしはホワイトボードに円を描き、表面的、個人的、受容的なコミュニケーションに費やしている時間に基づいて円グラフを作ってもらいます。結婚生活に問題のあるほとんどの夫婦は、50パーセント近い時間を表面的なコミュニケーションに費やし、受容的なコミュニケーションに費やしている時間は5パーセント以下です。バランスの取れたコミュニケーションは、表面的な段階に25パーセント、個人的な段階に50パーセント、受容的な段階に25パーセントの時間が費やされています。

不健全なコミュニケーション



健全なコミュニケーション



鍵



受容は伴侶の言葉に注意を払うことから始まります。また、教化し癒す考えや思いを伝える行為も含まれます。伴侶の良いところを見つけ、伝えるのです。伴侶が辛い一日を送ったとしたら、耳を傾け、慰めることで、受容することができます。例えば、次のように言うことができます。「ほんとうに大変だったね。何が起こったのか、もう少し聞かせてくれるかい？」あるいは「君の一日の残りの時間を良くするために、何か僕にできることがあるかい？」次のように言ってもいいかもしれません。「あなたの一日がほんとうに大変だった理由は分かるわ。でもわたしは、あなたの賢明さと勤勉さを信頼しているの。だから、その問題、きっと解決できるわよ。」このような言葉を口にすることで、伴侶の苦しみに対して同情の気持ちを伝え、関心を示すことができます。伴侶の感情、恐れ、思いや不安を受け入れていることを言葉で伝えることによって、受容、感謝、愛、尊敬の念を伝えていることになるのです。⁵

耳を傾ける技術を磨く

最大のコミュニケーション能力とは、効果的に耳を傾けるということです。結婚生活で思いやりを示す最も良い方法は、伴侶に心からの関心を示し、耳を傾ける、あるいは自分に言いたいことがあったとしても、文字どおり耳を傾けることです。耳を傾けてもらうことは、愛されることと同じです。実際、耳を傾けてもらうことは、伴侶からの敬意と受容を最も感じる方法なのです。耳を傾けることで、わたしたちは伴侶にこう言っていることになります。「あなたはわたしにとって大切な存在です。わたしはあなたを愛しています。また、あなたの語ることは大切です。」

夫婦間で耳を傾けるときには、情報を得るのではなく理解することを目標とすべきです。真の意味で伴侶を理解

するという事は、問題について考えるときに、伴侶と同じ視点で見るということです。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、夫婦は「耳を傾けるすべを身に付け、実際に耳を傾けて、互いに学び合[う]」⁶ べきであると教えています。効果的に耳を傾けることによって、わたしたちは自分の望みやプライドを捨て、心と心で伴侶とつながることができます。

元七十人のジョー・J・クリステンセン長老は次のように勧めています。「時間を作って、伴侶の声に耳を傾けてください。できれば、定期的に話を聞いてあげてください。率直に話し合い、伴侶としてその役割をきちんと果たしているかどうか、評価し合ってください。」⁷ 時間を割いて、気が散らない所で話し合うことは、問題の解決に役立ちます。いつも前向きで、キリストのような態度を保ち、伴侶があなたに話しているときには、途中で口を差し挟まないようにしてください。

言葉によらない合図

コミュニケーションにはもう一つの側面があります。それは時として見過ごすことがあります。非言語コミュニケーションです。話す内容や話し方も大切

ですが、ボディーランゲージ(身振り言語)も大切です。妻が話しているときに、その目を見ていますか。仕事でつらいことがあった、と夫が話しているときに、あきれたような目つきをしていませんか。あなたの表情は関心や誠意を伝えているでしょうか。それとも退屈やいらだちを表しているでしょうか。愛を体で表現しているでしょうか。抱き締めたり、ほほえんだりすることで、時には言葉よりも雄弁に愛を伝えることができます。何を話すかに関係なく、すなわち内容が最近の新聞記事であれ、人生の抱負であれ、肯定的なボディーランゲージを用いることで、互いの受容度を高め、夫婦の関係を深めることができます。

救い主のコミュニケーションを模範とする

伴侶と有意義な会話をするときには、自らの行動と言葉の指針として、イエス・キリストの模範に従ってください。周りの人との主のコミュニケーションは、愛と思いやり、そして気遣いにあふれていました。主は穏やかに語り、純粋に愛されました。哀れみを示し、^{ゆる}赦しをお与えになりました。注意深く耳を傾け、慈愛を示されました。同様に、わたしたちも人々との関係を改善したいと

願うなら、周りを教化し、強めるような前向きな方法で話せるようにならなければなりません。

わたしは、夫婦と会って話すときに、自分たちのコミュニケーションのパターンを分析し、改善するように勧めることがよくあります。夫婦が自分たちの関係において有意義な会話の原則を応用するにつれて、結婚生活がより健全なものに変化していくのを目の当たりにしてきました。伴侶を理解し、自由なコミュニケーションと感情表現が育まれる環境を作り、好意と敬意を示すことは、夫婦関係をより堅固にし、結婚生活をより幸福なものとするための鍵なのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. ダグラス・E・プリンリーとマーク・D・オグレットリー、*First Comes Love* (2002年), 123 - 126 参照
2. マービン・J・アシュトン「家族の交流」『聖徒の道』1976年8月号, 366 参照
3. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129 参照
4. サンドラ・ブレイクスリーとジュディス・S・ワラースタイン、*The Good Marriage: How and Why Love Lasts* (1995年), 240
5. ダグラス・E・プリンリー、*Strengthening Your Marriage and Family* (1994年), 153 - 154
6. ラッセル・M・ネルソン「耳を傾けて学ぶ」『リアホナ』1991年7月号, 23
7. ジョー・J・クリステンセン「幸福の偉大な計画と結婚」『聖徒の道』1995年7月号, 69
8. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』23 - 24

天の御父との関係を改善する

こうしたコミュニケーションの原則を、結婚生活に取り入れるとともに、天の御父との関係にも応用するとよいでしょう。神とのコミュニケーションは表面的になりがちです。義務的に祈ったり、型にはまった表現を用いたりしているのであれば、天の御父と気持ちを通じ合わせるの難しくなるかもしれません。また、天の御父が遠い存在に感じられることでしょう。神とのコミュニケーションは、単に話しかけることとは違うのです。ジョセフ・F・スミス大管長(1838 - 1918年)は次のように教えています。「わたしたちは多くの言葉を用いて神に叫び求める必要はありません。長い祈りで神をうんざりさせる必要はありません。……

心から祈ろうではありませんか。祈りの言葉が使い古された決まり文句にならないように、心を込めて祈らなければなりません。」⁸ 皆さんは天の御父に、心の最も奥底にある信念や感情、願望を伝えていますか。だれにも話したことの無い心の望みを伝えたことがありますか。心を注ぎ出していますか。また、天の御父の答えに耳を傾けるよう心がけていますか。

今年のようなことを成し遂げたいでしょうか。よく祈って目標について考えながら、達成可能でしかもあなたの成長を促してくれることを目標にしましょう。目標を詳しく日記に書き、1年後に成長の度合いが分かるようにしましょう。



十二使徒定員会
ロバート・D・
ヘイルズ長老

神殿の祝福

神殿の救いの儀式は、
永遠の幸福の計画には欠かせないものであり、
その計画の中心とさえ言えるものです。

神殿のエンダウメントによる
祝福は、バプテスマと同様、
わたしたち一人一人にとって
欠かせないものです。だからこそ、神
の宮に参入するために清くあるよう、
自らを備えなければなりません。神殿
の儀式は、生者のためのエンダウメント
を自分自身で受けて聖約を交わす機会
でもあり、死者の贖い^{あがな}のために同じ儀式
を行う機会にもなります。そのために、
わたしたちは神殿を建て、神聖な神殿
の儀式と聖約にあずかるにふさわし
い者となるために生活を整えるよう、
聖文の中で指示されているのです。

神殿に入り、そこで神聖な聖約を受
けるために主から求められている個人
のふさわしさを身に付けることは、現
世で受けることのできる最高の祝福の
一つである、と聖文は教えています。
そして、聖約を受けてから、日々
聖約に従って生活することは、
わたしたちの信仰、愛、献身
を示し、天の御父や御子
イエス・キリストを敬う

という霊的な決意の表れとなります。また従順によりわたしたちは、御父や御子とともに永遠に住む備えをすることができます。神殿の救いの儀式は、永遠の幸福の計画には欠かせないものであり、その計画の中心とさえ言えるものです。

聖なる神殿

わたしたちは神殿が主の宮であるという証^{あかし}を得、敬虔^{けいけん}な思いを持つ必要があります。神殿はまさに「世にあって世のものではない」場所です。問題を抱えたり、心の重荷となっている重要な決断をしたりするとき、心配の種を神殿に持って行き、霊的な導きを受けることができます。

神殿の神聖さを保つため、また儀式を受け聖約を交わしに聖なる神殿に参入する人々に祝福を与える御霊^{みたま}を招くため、清くないものは神殿に入ってはならないと教えられています。神殿

内の敬虔さは、神殿の中に常に宿るよう御霊を招くのに不可欠な要素です。

少年のころ、父はわたしをアメリカ合衆国のニューヨーク州ロングアイランドからソルトレーク・シティーのソルトレーク神殿に連れて行き、神殿の敷地を歩いたり、神殿に触れたり、わたしの人生にとっての神殿の大切さを話したりしてくれました。いつか神殿の儀式を受けるためにまた来ようと決めたのはそのときです。

神殿は昇栄に備えるために不可欠な救いの儀式が行われる聖堂、すなわち神聖な場所です。聖なる宮に参入する準備をすることや、儀式に参加し聖約を交わすことが、現世で経験する一大事であるという確かな知識を得るのは大切なことです。

歴史を通して与えられてきた 神殿の祝福

歴史を通して、どの神権時代にも、主の民が神殿の儀式を受けられるように、主は神殿を建てよう預言者に命じてられました。

カートランド神殿はこの末日の最初の神殿であり、神権の鍵の回復に重要な役割を果たしました。救い主は栄光の中に現れ、カートランド神殿を主の宮として受け入れられました。その折、モーセ、エライアス、エリヤも現れ、彼らが持つ神権の鍵をジョセフ・スミスにゆだねました。エリヤはマラキが約束したように結び固めの権能の鍵を回復しました。わたしたちが人生において神殿の祝福を完全に享受するためです(教義と聖約 110 章参照)。

ノーブー神殿は、エンダウメントや

結び固めが行われた、末日で最初の神殿です。大平原を渡り、ソルトレーク盆地のシオンにたどり着くまで苦難を堪え忍んだ開拓者たちにとって、それは大きな力となりました。

ジョセフ・スミスがカーセージに捕らわれたとき、神殿の完成がジョセフ・スミスにとってなぜそれほど重要だったのかという理由が明らかになりました。ジョセフ・スミスは、聖徒が後に何を求められるのか、そして聖徒を待ち受けていることを耐え忍ぶための強さを得るために、聖徒が力、すなわち神権の力を受ける必要があることを知っていたのです。

わたしたちの先祖である開拓者たちは、ノーブーで家族として結び固め



★

**聖なる宮に参入する
準備をすることや、
儀式に参加し聖約を交わすことは、
現世で経験する
重要な出来事の一つです。**

左—フォートインスロック・ダイヤモンド。右—カートランド神殿に御霊を現された主。デル・パーション画

られました。彼らがノーブー神殿で主と交わした聖約が、西部への旅の間彼らの守りとなったように、わたしたちにとっても聖約を交わすことは、今現在、そして生涯にわたって守りとなります。神殿の儀式と聖約は、今日の試みや困難にあってわたしたちの守りとなり、将来直面する苦難のさなかにも守りとなります。それはわたしたちの受け継ぎであり、わたしたちの本質です。

困難や怒りに満ちた暴徒に遭い、ノーブーの快適な家を追われ、長くつらい旅を続けなければならなかった初期の聖徒たちにとって、神殿の儀式に参加することは証を強めるために不可欠でした。彼らは聖なる神殿で力を授けられました。夫と妻は互いに結び固められ、子供は両親に結び固められました。多くの人が旅路の

途中で家族と死別しましたが、彼らにとって死が終わりではないことを知っていました。神殿において永遠に結び固められていたからです。

**神殿の儀式は
わたしたちを救い主へと導いてくれ、
イエス・キリストの贖罪を通して
もたらされる祝福を
与えてくれます。**

神殿の儀式—— エンダウメントと結び固め

神殿は人に知られている中で最も偉大な学び舎です。そこでは天地創造についての知識と知恵が授けられます。洗いと油注ぎの儀式は、わたしたちが何者であるかを教えてくれます。エンダウメントで与えられる指示は、現世での生活をどのように送るべきかについて指針を与えてくれます(教義と聖約 97:13-14 参照)。

神殿の第一の目的は日の栄えの王国における昇栄に必要な儀式を行うことです。神殿の儀式はわたしたちを救い主へと導いてくれ、イエス・キリストの贖罪を通してもたらされる祝福を与えてくれます。「エンダウメント」という言葉の意味は「贈り物」です。エンダウメントの儀式は、どのように生きるべきかについて、また、救い主に従うことによって義にかなった生活をするために交わす聖約についての一連の指示から成っています。

もう一つの大切な儀式は、日の栄えの結婚において永遠に結び固められることです。この結婚の聖約により子供は両親と結び固められ、聖約の子は永遠の家族の一員となることができます。

教義と聖約は次のように教えています。「あなたが地上で結ぶことは何でも天で結ばれ、またわたしの名によって、またわたしの言葉によって、あなたが地上でつなぐことは何でも天で永遠につながれる、と主は言う。また、あなたが地上で赦す罪は、だれの罪でも永遠に天で赦され、またあなたが地上で赦さずにおく罪は、だれの



罪でも天でそのまま残るのである。」
(教義と聖約 132 : 46)

夫婦が聖壇にひざまずくとき、わたしは結び固め執行者として主の代理を務めていることを自覚します。わたしは地上で結ぶことは何でも文字どおり天で結ばれることを知っています。結び固められる人が忠節を守り最後まで堪え忍ぶならば、そのきずなは決して解かれることはないのです。

神殿の結び固めの部屋にある互いに向かい合った壁の鏡は、永遠のイメージを視覚的に映し出すために最適な角度で取り付けられています。部屋の片側の鏡をのぞくと、地上に来る前に過ぎてきた永遠の時間が映し出されます。部屋のもう片側を振り向くと、地上でのつかの間の人生を終えた後の永遠を象徴する、終わりのないイメージが見えます。結び固めの部屋自体は、この地上の猶予期間を象徴しています。この神殿の経験から学ぶべき教訓は、次のとおりです。すなわち、わたしたちはこの地上にやって来て死すべき状態を経験するという正しい選択をしたことと、この短い期間をどのように過ごすかにより、来るべき永遠の世でどのように過ごすかが決まる、ということです。

あなたは、現世の試しを受ける備えをしています。わたしたちは「すべての事物には反対のものが」(2ニーファイ 2 : 11) あることを理解しつつ、選択の自由を用いて自ら進んで父なる神のもとからこの試しの生涯にやって来ました。わたしたちの目標 (1ニーファイ 15 : 14 参照) は、神の武具を



すべて身につけ、信仰の盾と御霊の剣を持ち「敵対する者の放つ……火の矢」(教義と聖約 3 : 8) に立ち向かうことです (教義と聖約 27 : 15 - 18 参照)。また、最後まで堪え忍び、父なる神と御子イエス・キリストの前に立ち、永遠とともに住むにふさわしくなる、すなわち永遠の命と呼ばれるものを手にすることです。

わたしの証をお伝えします。神は生きておられます。イエスはキリストであります。この神権時代の預言者であるジョセフ・スミスにより回復された神権の祝福により、わたしたちは神殿の祝福にあずかることができることを証します。■

**神殿の儀式と聖約は
今日の試しや困難にあって
わたしたちの守りとなり、
将来直面する苦難のさなかにも
守りとなります。**

2005年11月15日のブリガム・ヤング大学でのデイポーションルにおける説教「神殿の祝福」から。説教の全文〔英語〕は <http://speeches.byu.edu> をご覧ください。

「神殿が遠すぎて、
あまり頻繁に参入する機会が持てません。
神殿がわたしの生活の中で、
もっと大きな位置を占めるようになるには、
どうすればいいでしょうか。」

あ

あなたができるだけ頻繁に参入できるよう全力を尽くすなら、主はあなたの努力をお喜びになるでしょう。神殿に参入できないときでも、神殿が生活の中でもっと大きな位置を占めるようになるためにできることはたくさんあります。

- **神殿に参入するにふさわしく生活する。** 主の宮に入るために必要とされる標準に従って生活するという事は、いつでも主のみもとに行く備えができていくということです。
- **自身のエンダウメントを受け、神殿で結婚するための計画を立てる。** これらの必要な儀式を受けるという目標を立てることで、常に神殿に心を向けることができます。
- **慎み深い服装をする。** このことは、自身のエンダウメントを受ける備えとなります。
- **神殿に関連する聖文を研究する** (例えば、出エジプト 26 - 29 章；レビ 8 章；教義と聖約 97, 109, 110 章；124：25 - 42；モーセ 2 - 5 章)。
『リアホナ』2010 年 10 月号でも神殿について特集されています。
- **先祖について調べ** (FamilySearch.org にアクセスする)、先祖のために神殿の儀式が執行されるよう取り計らいます。
- **自分にとって神殿はどのような意味を持っているか、ほかの人に尋ね、** 神殿がまさに主の宮であるというあなたの証あかしを述べます。
- **自分の家庭を神殿のような場所にするのを助ける** —「一つの家、すなわち祈りの家、断食の家、信仰の家、学びの家、栄光の家、秩序の家、神の家を建てなさい。」(教義と聖約 109：8)

よく祈りながらこの中から一つか二つのアイデアを選び、今月実行してみるとよいでしょう。御霊みたまを感じ、神殿についてさらに学ぶことができます。

神殿があなたの生活にどのような祝福をもたらすかを考える



神殿をないがしろにするなら、神殿はわたしたちの心から遠くでしょう。わたしたちは神殿が自分にもたらしてくれる祝福について考え、可能なときには参入する必要があります。1年に数回しか訪れることができないとしても、家族の名前を携えて行ったり断食をしたりすることにより、神殿訪問をより意義

深いものとすることができます。主の宮における御霊は特別ですから、訪問の機会を大切にする必要があります。

ベンジャミン・S, 18 歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)

清さとふさわしさを保つ



神殿ごんちちは今日のわたしの生活に幸せをもたらしてくれます。神殿に行くとき、わたしは天の御父とイエス・キリストについてさらに学びます。神殿で奉仕することにより、霊性が強められ、研ぎ澄まされます。人生の目的についての理解をさらに深めることができます。神殿は、試練と誘惑に対処するための勇気をもたらすと同時に、弱さを克服するための力を与えてくれます。神殿は、永遠の家族として結び固められる唯一の場所なので、わたしは神殿に参入する備えをして、清さとふさわしさを保ちます。

ミケラ・B, 16 歳 (フィリピン)

神殿の御霊を保つ

ドイツ・フランクフルト神殿に行くには 7 時間かかるので、わたしは家族と年に 2 度、1 週間ずつしか神殿に行くことができません。でも、ほかにも行く機会があれば、行きます。大きな祝福になると知っているからです。わたしは、神殿で感じる御霊を保つために毎日聖文を読んでいます。神殿推薦状を聖典のしおりに使っています。推薦状を見る度に、自分が神殿参入にふさわしいかどうか自問します。そのことにより、強められ、御霊を感じることができます。たとえ神殿が家から遠く離れていても、毎日

参入できるかのように生活する努力をすることはできます。

リセ・G, 17歳 (フランス)

自分自身を備える



真心と清い心をもって神殿に参入するのならば、年に2回か3回しか行けなくてもよいでしょう。指導者において神殿の団体参入を計画してもらうことができます。参入できないときには、機会が訪れたときに大きな喜びをもって行くことができるよう、自分自身を備えておきましょう。わたしたちは忙しい生活を送っていますが、主の宮に行く人は祝福されると預言者は約束しています。

クリスタ・L, 16歳 (パラグアイ)

神殿の写真を飾る

お気に入りの神殿の写真に「いつの日か入る!」と書いて額に入れるとよいでしょう。毎日見えるよう部屋に飾ります。そして、神殿に参入するふさわしさを保つために行うことと行わないことのリストを作り、写真の横に貼ります。

クリスチャン・J, 13歳
(アメリカ合衆国, アイダホ州)

過去の神殿訪問についての日記を読み返す

神殿での経験について日記を書き、家にいるときに読み返すと、神殿で感じた気持ちを思い出すことができます。特に、個人的に受けた啓示を記録することが大切です。わたしは神殿に参入したとき、御霊の声にとて

も注意深く耳を傾けようと努めました。主はわたしたちが学べるよう、常に助けようとしておられるからです。御霊に耳を傾ける度に、イエス・キリストと天の御父、そして神殿の業について新たな真理を見いだしました。神殿内で霊的な事柄に焦点を当てると、神殿がさらに大切な存在となり、生活の中でとても意義深いものになります。

オルガ・Z, 18歳 (ベラルーシ)

家族歴史を調べる



家族歴史の業に携わることは、神殿に行かずに神殿参入することに限りなく近いと思います。見つけた名前を家族や

ワードの会員に頼んで神殿に持って行ってもらうことができます。家族歴史を調べ、家庭を聖い場所きよに保つなら、神殿から遠く離れていても神殿を身近に感じるができるでしょう。

ケートリン・B, 13歳
(アメリカ合衆国, ユタ州)



神殿に参入するのにふさわしくなる

「わたしたちがいつも、神殿推薦状を保持するにふさわしくあることができるように願っています。また、主がわたしたちの送っている生活を正しいものとお認めになり、主の聖なる宮に参入するにふさわしい人物と見なされたという目に見える証拠を得るために、終始変わることなく定期的に神権指導者の前に座り、自らのふさわしさを明言できることを人生の目的の一つにできるように願っています。

……常にこの推薦状にふさわしい生活を送り、神殿参入の資格を確認する質問に偽りなく『はい』と答えることができるならば、わたしたちは主がお与えになった最大の賜物たまものに向かって進んでいることとなります。主の祝福により、神殿に参入するふさわしさを常に保とうと固く決意できるように願っています。」

十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老
「父から受けた神殿の面接」
『聖徒の道』1991年5月号, 45参照

今月号52ページのロバート・D・ヘイルズ長老の記事「神殿の祝福」には、このテーマについてさらに詳しく書かれています。

次回の質問

「最近大切な友人を亡くしました。この悲しみにどう対処すればよいでしょうか。」

あなたの意見をお聞かせください。2014年3月15日必着で liahona.lds.org に投稿するか、liahona@ldschurch.org まで電子メールをお送りください。郵送することもできます(郵送先については、3ページをご覧ください)。希望する場合は、高解像度の写真も添付してください。

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず明記・同封してください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載を許可する、あなたの署名(18歳未満の場合は保護者の署名も必要です〔電子メール可〕)。

忠実な愛ある奉仕



キリストのような奉仕は聖霊を招き、約束された平安をもたらします。

これは、エライジャという少年がアフリカの人里離れた村で、出会ったばかりの友達にシャツをあげている写真です。わたしはここに、無私の精神で行う純粋な奉仕の喜びを見ました。エライジャは相手に今何が必要かが分かると、すぐにそれにこたえました。幼いエライジャと同じように、わたしたちには様々な方法で人に奉仕する機会があります。着ているシャツを脱いで人にあげることはないにしても、聖霊のささやきに耳を傾けていれば、だれに奉仕すればよいか、困っている人をどのようにして助けたらよいか分かるようになるでしょう。

「奉仕するとは、神の戒めを守ると同じ意味」であり、神に対する愛の表れです。¹ 救い主はこう教えておられます。「あなたはわたしを愛するなら

ば、わたしに仕え、わたしのすべての戒めを守るべきである。」(教義と聖約42:29)「あなたは心を尽くし、勢力と意思と力を尽くして、主なるあなたの神を愛さなければならない。また、イエス・キリストの名によって、神に仕えなければならない。」(教義と聖約59:5) わたしたちはバプテスマのときに、神に仕え、神の戒めを守ると聖約しました(モーサヤ18:10 参照)。キリストに従う者として、わたしたちは常に神の業に携わるよう努めていますが、神の業には奉仕が含まれます。

奉仕——福音の実践

奉仕は、イエス・キリストの福音の実践です。これは、ブリガム・ヤングにまつわるわたしの大好きな話によく表れています。1856年10月の大会でのことです。手車で旅する数百人

の開拓者が高原で立ち往生し、堪え難い状況にあることを知るやいなや、ブリガム・ヤングはこんな簡潔で力強い説教をしました。「わたしは、これから話をする長老たちに代わって、教会員に申し上げたいことがあります。……この日に大勢の兄弟姉妹が、高原を手車でこちらに向かっていきます。ほとんどの人は、ここから1,100キロほど離れた所にいます。彼らをここへ連れて来なければなりません。彼らに援助を送る必要があります。わたしが申し上げたいのは、彼らをここへ連れて来てほしいということです。

これは、わたしの信じていることであり、わたしが受けた聖霊の指示です。この人々を救わなければなりません。

わたしは今日、ビショップの皆さんに要請します。明日まで待つつもりはありません。60組の元気なラバと



中央若い女性会長会
第一顧問
キャロル・F・マッコンキー

12台から15台の荷車が必要です。明日まで待つこともできないし、その翌日まで待つこともできません。牛を送りたくありません。必要なのは元気な馬とラバです。この準州内には元気な馬とラバがいます。ぜひそれを集めなければなりません。また12トンの小麦粉と、実際に馬やラバを駆る人のほかに、良い御者を40人そろえる必要があります。

皆さんに申し上げます。わたしが今話しているような原則を実行に移さないかぎり、皆さんの中で、その信仰、宗教、信仰告白によって神の日の栄えの王国に救われる人はだれもいないでしょう。さあ、行って、今平原にいる人々を連れて来てください。』²

「その人たちを救出してください。」これが命令でした。人のために奉仕するとき、わたしたちは救いの業に携わっています。ペニヤミン王の次の教えのとおりです。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである……。」(モーサヤ2:17)

機会は至る所にある

奉仕の機会を見つけるために、遠くに目を向ける必要はありません。生ける預言者トーマス・S・モンソン大管長はこう教えています。「わたしたちの周りには、家族、友人、知人、他人を問わず、わたしたちの注目、励まし、支え、慰め、親切を必要としている人が大勢います。わたしたちは地上で

主の御手に使われる器であり、わたしたちには御父の子供たちに仕え、彼らを高める責務があります。主はわたしたち一人一人を頼りにしておられるのです。』³

天の御父は、わたしたちが霊的にも物質的にも人に助けを与えることを望んでおられます(モーサヤ4:26参照)。「わたしたちがこの世で提供できる最大の奉仕は、信仰と悔い改めを通してキリストのみもとへ導くことです。』⁴ わたしたちは福音の標準に従って生活し、模範を示します。イエス・キリストの福音のメッセージを伝えます。家族歴史を行い、先祖の名前を神殿に持って行って儀式を行います。多くの場合、ほほえみや親しみを込めたあいさつ、温かい抱擁、感謝の手紙といった簡単で小さな愛の行いだけで、人は心が明るくなり、勇気づけられるものです。他方、多大な時間と労力という犠牲が求められる場合もあります。

しかし、どんなときでも、忠実な愛ある奉仕、キリストのような奉仕には聖霊が伴います。そしてそのような奉仕を行うとき、わたしたち一人一人に「この世において平和を、また来るべき世において永遠の命」が約束されるのです(教義と聖約59:23)。■

注

1. ブルース・R・マッコンキー, *Mormon Doctrine*, 第2版(1966年), 706
2. プリガム・ヤング, "Remarks," *Deseret News*, 1856年10月15日付, 252
3. トーマス・S・モンソン「今日われ善きことせしか」『リアホナ』2009年11月号, 85
4. D・トッド・クリストファーソン「贖い」『リアホナ』2013年5月号, 110



「お帰りなさい キット」 を配る



オリベット・ガサング

降りしきる雨の中、冷たい風が吹いていました。根こそぎなぎ倒されて葉が全部落ちてしまった木が見えました。一部の地域は、電線の損傷のために停電していました。わたしの目の前には、幽霊が出てもおかしくないような光景が広がっていたのです。あらゆるものが吹き飛ばされていました。人々は食べ物もなく、飢えており、雨風をしのぐ場所を求めていました。

奉仕したいという気持ちが胸いっぱいに広がりました。わたしは台風で何千もの倒壊家屋と何千人もの犠牲者を出した悲惨な地域に、家族や

ほかの教会員たちとともにやって来たのです。目的は、被災者に救援物資を配ることでした。

最初着いたとき、人々の顔には苦悩の表情が見えました。我が家が倒壊しなかったのは大きな祝福だったことに、わたしはそのとき気づきました。

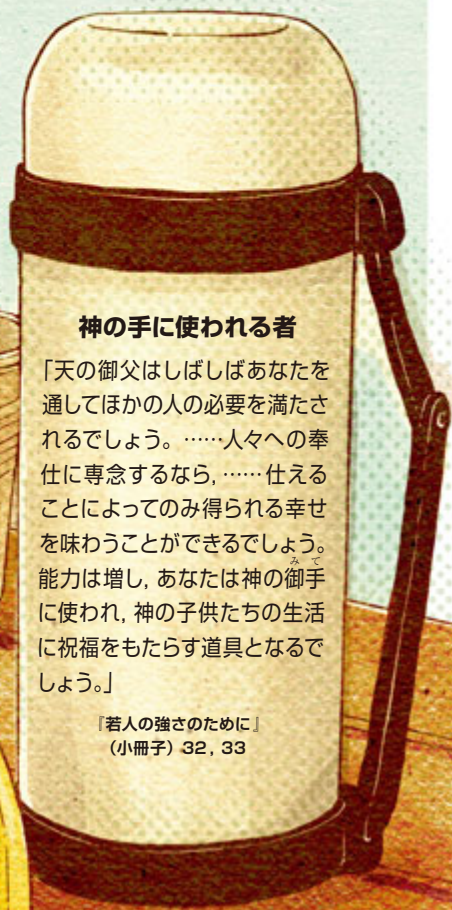
屋根がなく泥まみれの体育館で救援パックを配り始めたときはまだ雨が降っていましたが、気になりませんでした。救援パックはプラスチック製のトレイとやかん、皿、スプーン、フォーク、コップ、それに魔法瓶をセットにしたもので、わたしたちは「お帰りなさいキット」と呼んでいました。わたしが家族と一緒にその救援パックを手渡すと、温かい笑顔と感謝の言葉が返ってきました。

お金では買えないこの感謝の言葉にわたしは元気づけられ、御霊を感じました。彼らの笑顔を見ていると、希望があることと、天の御父とイエス・

キリストはわたしたちを決してお見捨てにせず、暗い日々にも必ず明かりをともしてくださることが分かりました。

愛し合い、奉仕し合うと永遠の祝福が注がれ、キリストのような特質が得られることをわたしは知っています。奉仕したからといってすぐに祝福が来るわけではありませんが、誠実に人に奉仕し続けるならば祝福があります。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである」ことを、わたしは確かに知っています（モーサヤ2:17）。■

筆者はフィリピン、ミンダナオ在住です。



神の手に使われる者

「天の御父はしばしばあなたを通してほかの人の必要を満たされるでしょう。……人々への奉仕に専念するなら、……仕えることによつてのみ得られる幸せを味わうことができるでしょう。能力は増し、あなたは神の御手に使われ、神の子供たちの生活に祝福をもたらす道具となるでしょう。」

「若人の強さのために」
(小冊子) 32, 33



十二使徒定員会
L・トム・ペリー長老

命の書の 記入の仕方

わたしは、皆さんが生活の中で蓄積している、永遠に残る記憶についての質問を携えてここに来ました。皆さんが蓄積しているのは「やっておけばよかった」という反省の付く記憶ですか。それとも、「やってよかった」と言える記憶でしょうか。

過去を振り返って、「やってよかった」と言える記憶を蓄積するために特に役立つ原則の一つだけ挙げることができるとしたら、それは何でしょうか。それは、従順の原則ではないかと思うのです。¹

わたしたちは皆、毎日、命の書に記入しています。時々その記録を吟味しますが、自分の命の書の記入済みページを繰ると、頭の中に次々によみがえってくるのはどんな記憶ですか。「やればよかった」というコメントの入ったページはどのくらいあるでしょうか。先延ばしにしたことや、特別な機会を生きさなかつたことが記入されていないでしょうか。家族や友人、それに見知らぬ人に対して思いやりのない接し方をしてしまったことは記入されていませんか。正しくない行いや

不従順な行いをした結果、自責の念に駆られたというページはありませんか。

幸いなことに、一日は必ずきれいな白いページで始まるのですから、認め、苦しみ、悔い改め、償うという過程を経て、「やっておけばよかった」のではなく、「やってよかった」ことが記入できるようにすればよいのです。過去に行ったことで思い悩んだり、機会を逃して意気消沈したりしても、愉快的出来事、夢中になった事柄、生きる喜びがたくさん記入されていれば、その影は薄れます。

皆さんが記念として命の書に入れたものを調べると、主の律法に忠実だったために主の指示で与えられたものがあるのではないのでしょうか。バプテスマ証明書や、若い男性であればアロン神権とメルキゼデク神権を受けたときの神権聖任証明書、若い女性であれば、若い女性表彰の証明書です。そしてもちろん、専任宣教師の名誉の解任の手紙もあるでしょう。現在有効な神殿推薦状、^{じゅうぶん} 什分の一の領取書、聖なる神殿で執り行われた結婚式、神権組織や補助組織での召しを受け入れた記録はありますか。

皆さんにお勧めします。皆さんの記憶と命の書を、「やってよかった」と思える活動で、できるかぎりいっぱいにしてください（モーサヤ2：41参照）。

自由と永遠の命に導くこのような良い経験をするために、何を決意して

どんな訓練をすればいいか、見いだしてください。神が生きておられることを証します。^{あかし} 主の律法に従って生活するならば、この世においては幸せが、来るべき世においては永遠の機会が与えられるでしょう。■

1992年11月1日に行われた教会教育システムファイヤサイドより。

注

1. 息子アルマの話（モーサヤ27章；アルマ29、36章）、アダムとエバの話（モーセ5：4-11）、サムエルとサウルの話（サムエル上15：9-11、13-14、20-24）、ニーファイの話（1ニーファイ3-5章）参照。教義と聖約130：20-21も参照。





自分が人生に何を求めているか、考えてみると……

自分の選ぶことがなぜ 重要な意味を持つのか

教会機関誌

ミンディ・ライ・フリードマン

皆さんは日々、何かしら選んでいます。その中には永遠の救いに関係のない事柄（今日は何色のシャツを着ようか、など）もあれば、大いに関係のある事柄（この戒めを破ってもいいだろうか、など）もあります。「自分の選ぶことがほんとうに重要な意味を持つのだろうか」と感じることもあれば、「自分が何をしようとだれにも分からないのだから、これをしたからといってだれかに影響を与えることなどあるものか」とすら考えることもあるかもしれません。しかし、影響を与えるのです。決断は**確かに**重要な意味を持ちます。

なぜ大切なのか

あなたの決断がなぜ重要な意味を持つのかを理解するために、話を前世に戻しましょう。天の御父が救いの計画を発表されたとき、だれもが賛成したわけではありませんでした。ルシフェルがこの計画に反対し、「人の選択の自由を損なおうとした」のです（モーセ4:3）。このためにルシフェルはサタンとなり、彼と彼に従った者たちは天から追放されて、この世で成長する機会を失いました。選択の自由は神の計画の中で非常に大切なものであったため、これを損なおうとする者たちは、天から追放されたのです。

天の御父の計画では、自分で選ぶ機会が人に与えられています。それこそが、学び、成長し、御父のようになる唯一の方法だからです。人生の目的の一つは、選択の自由を賢明に用いる方法を学ぶことです。しかし、したいことが何でもできるようにするために選択の自由が与えられたわけではありません。『若人の強さのために』では、こう教えています。「あなたはこの地上にいる間、戒めを守ることによって神への愛を示すために、自分の選択の自由を正しく使うかどうか試されています。」¹ 戒めを守ることを選ぶことによって、わたしたちは神を愛して



いることを、また喜んで従う気持ちがあることを、神に示します。決断を下すときの態度も含め、何かを選ぶという事は、この世の試しの大きな部分を占めているのです。

善いことを選ぶ

皆さんは神の戒めに逆らうことを選ぶと当然の結果が待ち受けていることを、繰り返し学んできています。しかし、善いことを選んだ場合にも結果が伴うことについては、考えたことがあるでしょうか。『若人の強さのために』では、こう教えています。「どのような行動を取るか自由に選ぶことはできません。良きにつけ悪しきにつけ、あなたが行った選択には、自然の成り行きとして、何らかの結果が伴います。」²



決断が将来を決める

「わたしたち一人一人には選択する責任があります。皆さんは『決断することがそれほど大切なのだろうか』と尋ねるかもしれませんが。わたしは申し上げます。決断が将来を決めるのです。永遠にかかわる決断には永遠の結果が必ずついて来るのです。」

トーマス・S・モンソン大管長
「完成への道」『リアホナ』2002年7月号、112

では、良いことを選ぶとどんな結果になるのでしょうか。正しい選択をすることによって受ける祝福は、非常にたくさん思い浮かぶのではないのでしょうか。そのような祝福を探すうえで適しているのが聖文と小冊子『若人の強さのために』です。例を挙げましょう。「わたしの戒めを守り、最後まで堪え忍ぶならば、あなたは永遠の命を得るであろう。」(教義と聖約14:7)「安息日を守ることによってあなたは主に近づき、家族のきずなを強めることができます。」³「〔知恵の言葉〕を守るなら、有害な常習癖を避け、自制心を維持することができます。」⁴これらは非常に大きな祝福のように見えますが、ほかにもたくさんの祝福を見つけることができます。

わたしたちは「熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によって〔行わ〕なければならぬ」と主は言われました(教義と聖約58:27)。そして、それを行うならば「義にかなう多くのことを成し遂げ〔る〕」ことができるかと約束されています。ですから、悪いことを避けるだけでなく、良いことを積極的に行うよう努力しなければならぬのです。

時々わたしたちは、するべきでないことばかり気にするあまり、従うとはするべきことを行うことだということを忘れてしまうことがあります。戒めを破ると生活に悪い影響が出ることは理解できるでしょう。でも、良いことを選んで行くと自分や周りの人の生活に良い影響があることを理解しているのでしょうか。

話し合いに参加する

日曜日のために考える事柄

- 選択の自由は、救いの計画の中でどのような役割を果たしているだろうか。
- 良いことを選ぶと、自分やほかの人たちの生活にどんな影響を与えるだろうか。
- 自分の下す小さな決断が大きな目標を達成することにつながるのはなぜだろうか。

自分が行うこと

- 今達成したい目標と、将来達成したい目標を幾つか書き出す。
- 何か決めなければならなくなったときに、自分が書いた目標を見る。
- 自分が経験したことを教会や家で話したり、インターネットで youth.lds.org に投稿したりする。

目的を持って生きる

良いことを選んでいることは、どうすれば分かるのでしょうか。まず、自分は人生に何を求めているのかを、考えてみてください。永遠の命が欲しいと思いますか。神殿で結び固められたいと思いますか。専任宣教師として伝道に出たいと思いますか。大学を



あらかじめ決めておく

「わたしが若い女性るとき、決意の中には1度だけすればよいものがあると学びました。わたしは小さなノートに、いつも必ずすることと、決してしないことを書き出しました。その中には、知恵の言葉を守る、毎日祈る、^{じゅうぶん}自分の一を納める、また決して教会を休まないことなどが含まれていました。わたしはこれらの決心を1度したので、選択するときには、何をすべきかははっきりと知っていました。なぜならあらかじめ決めていたからです。高校の友人から『少しくらいお酒を飲んでも、大丈夫よ』と言われたときも、わたしは笑って『12歳とき、お酒は飲まないって決めたの』と答えました。あらかじめ決めておくことは、徳の守り手となるのに役立ちます。皆さん一人一人に、いつも必ずすることと決してしないことのリストを書いてほしいと思います。そしてそのリストに従って生活してください。」

前中央若い女性会長

イレイン・S・ダルトン

『徳の守り手』『リアホナ』2011年5月号, 123

卒業して良い仕事に就きたいと思っていますか。そうだとしたら、どうやってそれを実現しますか。建築業者が高層ビルを建てるために青写真が必要なように、義にかなった生活を築くためには、計画が必要です。

自分の目標とそれを達成するための計画を書き出して、よく目につく所に貼ってください。そうすれば、いざ何かを選ばなければならなくなったとき、今欲しいものためにいちばん欲しいものを失ってしまうことがないよう、書き出した事柄について考えることができるでしょう。また、目標を設定しておく、手当たり次第に思いつきで決めたり、状況に流されて判断したりすることなく、目的を意識して慎重に物事を決めることができます。

この方法が効果的なのはなぜでしょうか。例えば、あなたの目標が、専任宣教師として伝道に出ることだと

します。そして、早起きして早朝セミナーに行くか、それとももう1時間寝るかを毎朝選ばなければなりません。どちらを選ぶとあなたは目標に近づくでしょうか。または、今の学年が終わるまでにモルモン書を最後まで読むという目標を立てたとします。その場合、学校から帰ったときまたは布団に入る前に、聖文を読むか、または大好きなテレビ番組を見るなどほかのことはするかを選ばなければなりません。あなたはどちらを選びますか。このような選択を迫られる機会は、毎日あるのです。心に目標を刻み込んでおくならば、ほんとうにやりたいことへと導く決断を下せるようになるでしょう。■

注

- 1.『若人の強さのために』(小冊子) 2
- 2.『若人の強さのために』2, 強調付加
- 3.『若人の強さのために』31
- 4.『若人の強さのために』25





健全な楽しい活動を行い、最終的には永遠の伴侶を見いだす助けとなります」と書いてありました。²

翌日、わたしはポールに『若人の強さのために』の小冊子を見せました。ほかの人たちの見ているところでポールはそれを読み、クラスメートの質問にわたしが答えられるよう、末日聖徒の友人たちが助けしてくれました。ポールの質問に答えられてよかったと思いました。

『若人の強さのために』には、16歳前にデートをしたり、青少年の時期に真剣な関係に発展したりすると、不道德な行いにつながる恐れがあり、出会う人の数も少なくなってしまうと書かれています。また母は、16歳になる前にデートをしてはいけないのは、勉強に打ち込めなくなったり、将来の成功を左右するような機会を逃してしまったりする可能性が出てくるからでもある、と言っています。わたしは、友達が何人か13歳で失恋してかなり落ち込んでしまったのを見ています。

16歳になる前にデートをしてはいけない理由を自分で見つけることができ、ポールの気持ちを傷つけることなく質問に答えることができ、うれしく思いました。ポールとは親友になれました。この友情が長く続くよう願っています。だれもがいつか誠実な永遠の伴侶を見つけられるように、主がわたしたちに友人と、適切な年齢になったらデートをする機会を与えてくださっていることを、主に感謝しています。■

注

- 1. 『若人への預言者の勧告と祈り』『リアホナ』2001年4月号、38 - 39
- 2. 『若人の強さのために』（小冊子）4

デートをするか しないか

サバンナ・M・スミスソン

わたしの学校には、ボーイフレンドやガールフレンドのいる人がたくさんいます。中学2年の最初の日、わたしはポールという男の子と知り合いました。わたしたちは話が合い、良い友達になりました。

その翌日の放課後、ポールからデートに誘われました。できない、と言うと、理由を聞かれました。わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の会員で、16歳になるまではデートをしないことになっていると言いました。ポールから、なぜ16歳なんだ、と聞かれると、自分でもよく分かっていないことに気づきました。

その晩、家に帰ってポールの質問について深く考えてみました。LDS.orgで調べたり、自分の聖典を開いて読んだりしました。そして、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）の言葉の引用を見つけたのです。「主は、偉大な目的のために、わたしたちを魅力的な者としてくださいました。しかし、よくコントロールされないかぎり、この魅力は危険をはらんだものとなるのです。……早い時期のデートについて教会の指導者が勧告しているのもこの理由によるのです。」¹

また、『若人の強さのために』も調べましたが、デートは「異性とのつきあい方を学び実践し、友情をはぐくみ、



しちじゅうにん
七十人
あおやぎひろいちろう
青柳弘一長老

いねかり



「せいいいは、あなたがたが
なすべきことをすべて
あなたがたにしめされるであろう。」
(2 ニーファイ 32:5)

日 本人のわたしは、少年時代、英語を勉強したいと思っていました。でも、英語のレッスンは高くて、それにはらうお金はありませんでした。ある日、無料英会話のちらしを配っている二人のわかいだんせいを見かけました。末日せいとイエス・キリスト教会のせんきょうしたちでした。わたしはすぐにかれらの英会話クラスに申しこみました。

わたしは、せんきょうしたちから何か特別なものを感じました。かれら

は明るくて、前向きでした。わたしは二人に教会について質問し、心動かされました。そのときは分かりませんでした。やがて、わたしはバプテスマを受けたいと思うようになりました。

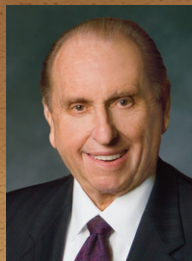
両親はわたしに、自分たちのしゅうきょうとちがう教会には入ってほしくないと思いました。でも、せんきょうしがわたしの家に来て、愛をこめて両親と話をしてくれました。みたまが両親の心をやわらげてくれたおかげで、両親はバプテスマを受けることをきよかしてくれました。

10月のある日曜日のこと、わたしは教会のあるプログラムで大切なせきんをあたえられました。でも、10月はお父さんの田んぼのいねかりがあり、家族全員で一所けんめいに働かなければなりません。安息日も同じでした。

わたしは天のお父様にいのりました。すると、みたまによってある思いが心に浮かびました。日曜日の前にいねかりを終わらせてしまえばよいのです。そこでわたしは毎朝早起きして、学校に行く前に働きました。そして放課後も毎日暗くなるまで働きました。

でも、土曜日の夜になっても、いねかりは半分しか終わっていませんでした。わたしは自分の目標を果たせなかったので、がっかりして、ねました。日曜日の朝、わたしは田んぼに行くために早く起きました。するとお父さんがわたしの部屋に来て、やさしくほほえみながら、なぜ教会に行かないのかと聞いてくれました。わたしの心は喜びでいっぱいになりました。わたしは教会に行つて、安息日をきよく守ることができたのです。

わたしたちが主の声に聞きしたがうとき、主はいつもわたしたちを祝福し、みちびいてくださることが分かり、かんしゃしています。■



トーマス・S・
モンソン大管長

天のお父様は みなさんを 愛しておられます

天のお父様はみなさんを、
みなさん一人一人を愛しておられます。
その愛は決して変わることは
ありません。

みなさんが
悲しんでいるとき、喜んでいるとき、
がっかりしているとき、
希望でいっぱいするとき、その愛は
みなさんのためにあります。

その愛は、
みなさんの外見や持ち物によって
変わるようなものではありません。

みなさんのさいのうや
のうりよくでも変わりません。
その愛はただそこにあるのです。

みなさんが神様の愛にふさわしいと
感じるかどうかにかかわらず、
その愛はみなさんのためにあります。
どんなときもただそこにあるのです。■

えいえんに続く 最高の家族

オリビアはほかの女の子たちから、仲間外れにされていました。1缶のペンキで何が変るといのでしょうか。

オリビア・コーレー

実話をもとに書かれました。

「わたしのすてきな家族の望み」

(「家族はえいえんに」

『子供の歌集』98 - 99)

バスの後ろの席に座った女の子たちが、うれしそうにひそひそ声で話すのを聞きながら、オリビアはうなだれました。

「わたしのバス停でいっしょにおりてもいいって、あなたのお母さんが言ってくれて、すごくうれしいわ。

ゲーム、持って来た？」

「持って来たわ。お母さんがポップコーンも持って行っていいって。」

オリビアはしかめっつらをして、読んでいた本に

顔をうずめました。

わたしに二人の会話が聞こえているって、

自分にはさそわれていないのに、友達二人が計画を立てているのを聞くのは、絶対

にいやでした。

ステファニーとレベッカとオリビアは、



長い間友達でした。以前は何をするにもいっしょでした。でも、今の学年になってからは、ステファニーとレベッカは同じクラスなのに、オリビアだけちがうクラスになってしまったのです。二人の席がとなり同士になった話や、お昼をいっしょに食べる話で二人が盛り上がる様子を見て、オリビアはおなかの辺りがきゅんとして、悲しい気持ちを感じたのを思い出しました。その悲しい気持ちは今も続いていました。

バスはレベッカの家の前で止まりました。二人がバスから飛びおりて前庭に向かって走って行くのを、オリビアはバスの窓からみじめな気持ちで見つめていました。

バスがようやくオリビアの停留所に着いたときには、もう涙をこらえ切れなくなっていました。オリビアは家にかけこみました。

「学校はどうだった?」と、お母さんに聞かれて、オリビアは泣き出しました。

「最低よ! レベッカもステファニーも、今ももう、わたしに話しかけてもくれないのよ。えいえんの親友だったはずなのに!」オリビアはそう言ってすすり泣きました。

「それはつらいわね、オリビア。友達との関係が変わってしまうのは大変なことだから」と言った後、お母さんは少しの間だまっていました。そして、かべにかざってある写真を指さしながら、「しんでんで結び固めを受けた

ときのことを覚えている?」と聞いてきました。オリビアが

見上げると、えがおでしんでんの前に立っている家族が写っていました。そのときオリビアは今よりずっとおさなかつたのに、今でも、両親とお姉さんのジェーンといっしょに、美しい結び固めの部屋にいたことを覚えていました。

「しんでんに行く準備をするために、家族みんなですごくがんばったのはなぜかわかる?」

「えいえんの家族になりたかったからよね」とオリビアは答えました。

「そのとおりのよ。レベッカやステファニーとえいえんの親友になれなくても、家族はえいえんの友達でいてくれるわ。」

「そうね、でも、やっぱり友達と家族はちがうわ」とオリビアは言いました。

すると、お母さんが「きずついているのね。でも、あなたが帰って来てよかったわ。あなたとジェーンにやってほしいことがあるのよ」と言うのです。

オリビアは耳をうたがいました。お母さんは、なぐさめてくれるどころか、手伝いをさせようとしているのですから。

「部屋に行って古い服に着がえて、うら口に来てね。ジェーンにも来るように伝えてちょうだい。」

オリビアはいつもより強く足音を立てながら2階に上がり、作業着を着ました。

二人が着がえて外に出ると、お母さんが物置小屋からもどって来るのが見えました。お母さんは緑色の缶とはけとおりたたんだビニールシートを持っていました。うら口に着くと、ビニールシートをしいて、二人にはけを手わたしました。



「簡単なことをいっしょに行うことで、愛にあふれた深い家族関係をきずくことができます。」

大管長兼第二顧問
ディーター・F・ワークトドルフ管長
「最も大切な事柄について」
「リアホナ」2010年11月号, 21

「ペンキをぬらせてくれるの?」オリビアは信じられないといった様子で言いました。そういうことはいつも、お父さんの仕事だったからです。

「そうよ。夕飯までに、うら口のドアをぬってほしいの。」お母さんはそう言うのと、せを向けて、家に入って行きました。

二人はしばらく見つめ合った後、にっこりしました。楽しくなりそうです。二人は、なめらかな緑色のペンキにはけをつけると、仕事を始めました。オリビアはこの仕事に気が入りました。手伝いをさせられているという感じはまったくありませんでした。ジェーンは、はけを使ってどうやったら長く、同じはげでぬれるかを見せしてくれました。二人はすぐに、笑ったり、おしゃべりしたりしていました。オリビアは、ジェーンといっしょにすごしてきた、たくさん楽しいひとときを思い出しました。いつでもお姉ちゃんと友達でいられることが、うれしくなりません。

数時間後、二人は緑色のペンキにまみれ、満面のえがおになっていました。オリビアは緑色にかがやくドアをそうっと開けると、頭を中に入れて言いました。「お母さん、ドアがぬり終わったわ。どんなにすてきか、見に来て!」



じゅうに し と ていじんかい
十二使徒定員会
M・ラッセル・
バラード長老

じゅうに し と ていじんかい かいじん
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
とくべつ しょうにん
特別な証人です。

ほかの人のためにほうしすることは なぜ大切なのでしょうか？

てんのお父様は、
みなさんやわたしを通して、
ほかの人のいのりに
こたえてくださることが
よくあります。

イエス・キリストは
わたしたちに、
神を愛し、となり人を愛して
助けなければならないと
お教えになりました。

もしもわたしたちすべての人が、
毎日の簡単なほうしをするなら、
希望と愛で世の中をよりよくし、
強めるでしょう。

ほうしする機会に気づけるように、
毎朝、天のお父様にいのってください。
そして、助けられる人をさがしながら、
一日をすごしてください。



わたしたちの ページ



「森で いる ジョセフ・スミス」
カロリーナ・M, 7才 (ブラジル)

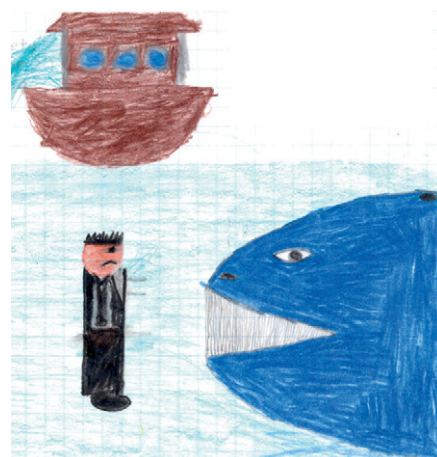
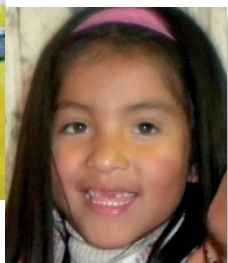


「命の木」ラケル・C, 7才 (ボリビア)

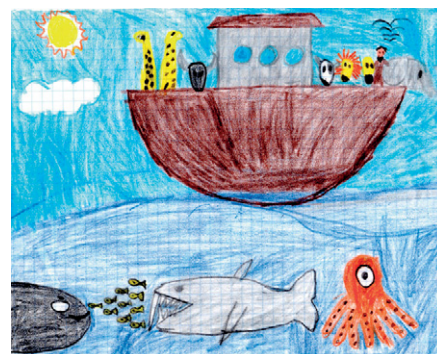


わたしには、しんでんに行き結び固めを受けて、えいえんの家族を持つという目標があります。そして、伝道にも行きたいです。ニーファイ第一書第6章5節で、ニーファイは、この世に喜ばれることではなく、神様に喜ばれることを書くと言っています。わたしも、この世ではなく神様を喜ばせることをしたいです。わたしは、神様がわたしたちを助けてくださることを、わたしたちに必要なることをごんじであることを知っています。

リス・D, 11才 (アルゼンチン)



「ヨナは よげんしゃでした」
ブリガム・C, 5才 (メキシコ)



「ノアの 箱船」イバンホー・C, 9才 (メキシコ)



ぼくが ずっと まっていた 白が、とうとう 来ました。ぼくは、かぞくの 中で いちばん 年が 下なので、いちばん さいごに バプテスマを うけました。お父さんが しんけんを もっているの、お父さんが ぼくに バプテスマを、ほどこ してくれました。お父さんは ビショップでも あります。今 ぼくは、まつじつせいとイエス・キリスト教会の かいいんです。
ヨナタン・L, 8才 (エクアドル)

ぼくのおじさんは、せんになせんきょうしとして グアテマラで 伝道しています。おじさんに 会えなくて、とても さびしいです。でも ぼくは、おじさんが 天のお父さまの ために はた していることを まなびました。ぼくも 大き になったら、おじさん みたいに 伝道に 行きたいです。だから ぼくは、「せんきょうしに なりたい」という 初等協会の うたが 大好きです。
マヌエル・L, 5才 (エルサルバドル)





プライベート、ドウルズイヤー!*

わたしは ロシアの
アリーナです



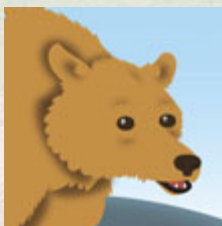
エイミー・ジェーン・レビットとの
インタビューから

みなさんは、ほかの
ひととあかしを
分かち合うのが
好きですか。教会で分かち
あ合ったり、よいもはんに
なってかぞくやともだち、
せんせいと分かちあ合ったりする
こともあるかもしれません。
こちらは、ロシアのカザン
にすむ、7才のアリーナ
です。アリーナは、自分に
ついてや、教会がしんじつ
だと分かるたくさんの
りゆうについて、みなさんに
もう少し知ってほしいと
おもっています。■

*ロシア語で「こんにちは、ともだちの
みなさん!」といういみ。



わたしはねる前に
お母さんといっしょに
せいてんを読みます。
わたしの好きなものがたりは、
ニーファイだい一書の中で、
リーハイがかぞくをつれて
エルサレムを出るところです。
わたしは、せいてんを読んだり、
おいのりをしたり、あかしをしたりして、
バプテスマをうけるじゅんびを
しています。



しんでんを 見るのが 大きいです



お母さんと わたしは、少なくとも年に1回、ウクライナ・キエフしんでんに 行きます。電車に のって行きますが、たいてい2日 かかります。電車の中から たくさんの町や のうじょうを 見て 楽しんでます。わたしは しんでんに 行くのが 大きいです。



わたしは ステージで はっぴょうするのが 大きいです。これは きっと お母さんから うけついでいると 思います。お母さんは プロの オペラ歌手 だからです。わたしは 歌ったり、バイオリンを ひいたりすることが すきです。



わたしは、ほかの 人と ふくいんの 話を する きっかけが たくさん あります。初等協会にも 友だちを さそいます。少し 前、ひいおばあちゃんに、食じの しゆくふくの おいのりの しかたを 教えてあげました。今は、食じの時 いっしょに おいのりしています。



わたしは ロシアで 楽しい 毎日をおくっています。外が あたたかいたときは、お母さんと ボルガ川で およんだり、家の 近くの 公園で さんぼしたりします。冬の さむいたときは、アイススケートを するのが すきです。サーカスで どうぶつの げいを見たり、人形げきじょうで、人形げきを 見たりするのも すきです。



ロシアの はた

じゅんび オーケー!

アリーナの かばんには、アリーナの 大ききなものが入っています。この 中で、あなたの かばんに 入れたいものは どれですか?



天のお父さまには、 子どもたちのために 一つの計画が あります

オリバーは おばあちゃんが オーブンで やいている ブラウニーのにおいを かいで、けいけんな気持ちになりました。おじいちゃんとおばあちゃんの 家に 来ると、いつも かんじる 気持ちです。オリバーは、この とくべつな かていの 夕べを 一日中 たのしみに してきました。

「今日は、天のお父さまが わたしたち すべての 人の ために 立てて くださった、こうふくの 計画について の レッスンだよ」と おじいちゃんが 言いました。今日は、だいどころが 天に なるよ。わたしたちは、ちきゅうに 来る 前、天のお父さまと いっしょに 天に すんでいたんだ。」

「ほくも そこに いたの、おじいちゃん？」と アーチーが 聞きました。オリバーは へやの 中の おじいちゃんや おばあちゃん、お父さんや お母さん、そして 弟の アーチーと イーサンを 見ました。

「そうだよ」と おじいちゃんが こたえました。「みんな、そこに いたんだ。そして 天のお父さまは、わたしたちのために ちきゅうを つくり、すくいぬしをつかわしてくださる 計画について はな話された。わたしたちは よろこんで さけぶほど うれしかったんだ。」

アーチーと イーサンは、わらいながら とびはねました。

「かぞくの 中で、さいしょに 天から ちきゅうに 来たのは だれだろう？」

と、おじいちゃんが 聞きました。

「おじいちゃんでしょ」と、オリ

バーが 言いました。

おじいちゃんが だいどころから 出て 行きました。つぎに、おばあちゃんも 出て行きました。そして、オリバーのかぞくが 一人ずつ だいどころを 出て、しんじつに 行きました。

「このへやは ちきゅうを あらわす のよ」と、おばあちゃんが 言いました。「天のお父さまのもとに 帰るために、ここでは どんなことが できるかしら。」

「バプテスマを うけること」と、オリバーが 言いました。

「しんでんに 行くこと」と、お母さんが 言いました。

「せいぎを えらぶこと」と、アーチーが 言いました。

おばあちゃんは、うなずいて にっこり しました。それから、ちきゅうを はなれて 天のお父さまのもとに 帰る 時間だと 言いました。

「わたしが さいしょに 行くよ」と、おじいちゃんが 言いました。

「いやだよ、おじいちゃん、行かないで」と、イーサンが 言います。

「しんぱいしないで いいんだよ」と、おじいちゃん。「ちきゅうを はなれる のは、天のお父さまの こうふくの 計画の いちぶだからね。すぐに また いっしょに なるんだよ。」

ぜんいんが 一人ずつ、だいどころに もどって 行きました。アーチーと イーサンが、お父さんの うでに とびこむと、「これで ぜんいん、天にも どったね!」と、

お父さんが言いました。

オリバーは、ほんとうに 長い 間 かぞくと はなればなれに なって いた みたいに、かぞくに 会えて うれしいと おも 思いました。走りよって、弟たちや お母さんや お父さんを だきしめました。オリバーは 今、おじいちゃんが なぜ、このことを 天のお父さまの こうふくの 計画と よぶかが 分かりました。■

うた 歌と せいこく

- 「しゅの 計画に したがう」 (『子供の 歌集』86 - 87)
- モーセ1:39

かぞくで 話し合うための アイデア

天のお父さまの 計画に したがうために かぞくが これまで 行ってきた 大切な ことを、じゅんばんに あげていきます。たとえば、いのる、バプテスマを うける、しんけんを うける、しんでんに 行く、せいぎを えらぶ などです。そのような とくべつな きかいに かんじた しあわせな 気持ちについて、かぞくに 話してもらおうと よいでしょう。その後で、かぞくが これから 行っていく 大切な ことを あげてもらいます。そして、天のお父さまの すばらしい 計画に したがい 続ける ときに えられる こうふくについて あかします。



3 ニーファイ 17:20
2 ニーファイ 32:9
教義と聖約 124:34
2 ニーファイ 32:5
教義と聖約 1:32
教義と聖約 33:11
教義と聖約 59:9
ヨハネ 5:39
教義と聖約 110:7, 9

しゅの 計画に したがう

せいくの 紙を 切りとり、テーブルの 上に うらがえしに して おきます。じゅんばんに 紙を めくり、そこに 書かれた せいくを よみます。かいだんに 書かれた、天の お父さまの もとに 帰るのに たすけと なる ことばの 下に のりではります。

天の お父さまの もとに 帰る

しんでん

しんけん

せいさん

せいれい

バプテスマ

くいあらため

しんこう

せいぶん

いのり

ぜんせ



小さい みんなのために

とも 友だち

きみの ^{ある} ^{かた} 歩き方を
わらう人 ^{ひと} いても



ぼくが いるよ

あなたの ^{はな} ^{かた} ^{ひと} 話し方 わらう人 いても



わたし いるわ
 みんなは ^{とも} 友だち
 あいで むすばれた



イエスさまのように
へだてなく ^{ひと} 人を



あいましょう ■



エリーが ジェーコブを さがせるように たすけてあげよう

エリーは イエスさまに したがって、みんなに あいを しめすのが 大好きです。今日 エリーは、友だちの ジェーコブと あそびたいと おもっています。エリーが とちゅうで おもちゃを みつけて、ジェーコブと いっしょに あそべるように たすけてあげてね。



メッセージ

ジェリー・ピーク

わたしはいつも地元の高速道路を使って職場に通っています。それがいちばん速くて簡単な方法だからです。渋滞に巻き込まれると車の流れも遅くなり、事故も起こりやすくなるので、それを避けるために早く家を出るようにしています。

でも、ある朝のこと、家を出るのがいつもより遅くなり、渋滞に巻き込まれてしまったことがありました。高速道路に入りながら、その日の朝の聖文研究について考えました。自分は霊的なことよりもこの世的なことに目を向けすぎていると感じたのです。仕事場に向かって運転しながら、一日中霊的なことにもっと注意を向けるにはどうしたらよいただろうと考えました。

そのとき、高速道路の上の方にある、事故や道路状況をドライバーに知らせるための大きな電光掲示板の一つに、メッセージが表示されているのに気づきました。近づいてみると、「メサ通りで衝突事故。中央レーン封鎖」と書かれていました。高速を降りるのは面倒なので、どうしても降りなければならない所まで、あとどのくらい高速で行けるだろうと考えていました。

すると、別の考えが浮かんできました。もしもこのメッセージを無視したら、危険な状況に身を置くことになるのではないだろうか、自分のスケジュールをじゃまされたくないというだけの理由で、



*わたしは
この世的な事柄に
目を向けるあまり、
これまで何度
霊的な安全を
わきに追いやって
きただろうと
思いました。*

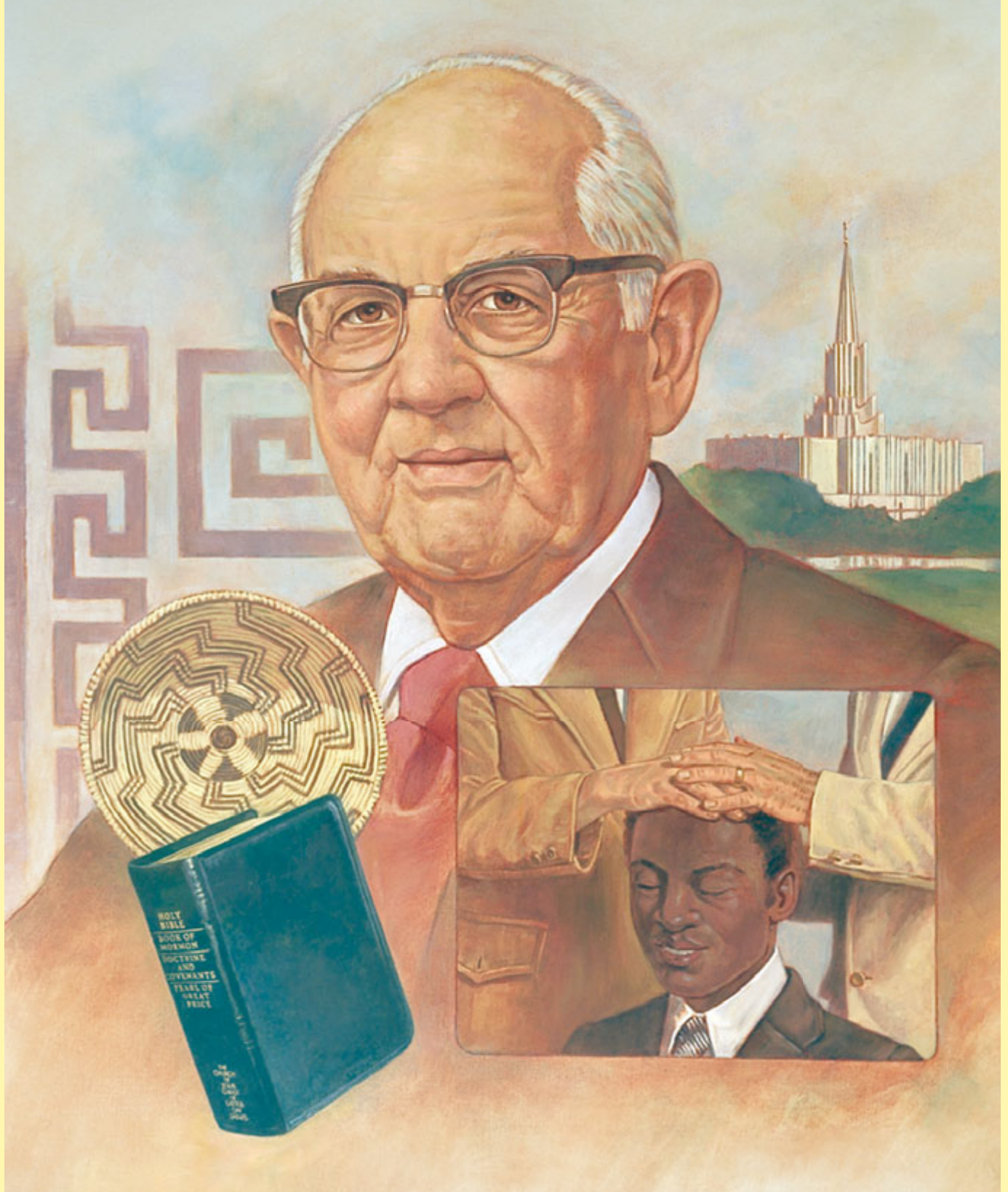
警告を無視しているのではないだろうかという思いでした。明らかに、わたしは身の危険を知らせてくれる警告を無視しようとしていました。自分の霊の安全を守るために与えられている促しを、これまでどれほど頻繁にわきに追いやってきたでしょうか。

どうしたら、もっと御霊に耳を傾けられるだろうかと考えていたとき、恐らく天の御父は、一日を通してたくさんのメッセージを送ってくださっているのではないかということに気づきました。自分が霊的な促しに耳を傾けなかったばかりに、これまで何度御父からのメッセージを聞き逃してしまってきただろうと考えました。これからはもっと注意しようと決心しました。

わたしは道路状況を確認し、車線を変更し、次の出口で高速道路を降りました。一般道を通って仕事に行ったおかげで、高速道路を走り続けていたら事故処理などで巻き込まれたかもしれないあらゆる災いや危険を避けることができたのです。

主はわたしを愛しておられるからこそ、メッセージを送ってくださることを知っています。わたしに必要なのはただ、主がわたしに送ってくださる霊的な促しに、霊の波長を合わせることなのです。

■
著者はアメリカ合衆国アリゾナ州在住です。



イラスト／ロバート・T・パレット

スペンサー・W・キンボール

スペンサー・W・キンボールは、レーマン人のしそんをあいしました。かごとうしろのもようは、レーマン人のぶんかにたいしてかれがもっていたあいをあらわしています。教会のだいかんちょうとしてほうししたとき、教会は新しいはんのせいてんをしゅっぱんしました。また、すべてのふさわしいだんせいがしんけんをうけられるというけいじもうけました。だいかんちょうとしてほうしする間、20いじょうのしんでんがほうけんされました。その中にはユタしゅうのジョーダンリバーしんでんもありました。

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

48
ページ



話し、耳を傾け、 愛する

皆さんは伴侶との効果的なコミュニケーションができていますか。この3種類の会話について理解することで、夫婦の関係を強める一助とすることができます。

青少年

神殿の祝福



52
ページ

心の重荷となっている重要な決断をするようなとき、心配の種を神殿に持って行き、霊的な導きを受けることができます。

子ども

66
ページ



いねかり

みたまによってある思いが心に浮かびました。
日曜日の前にいねかりを終わらせてしまえばよいのです。